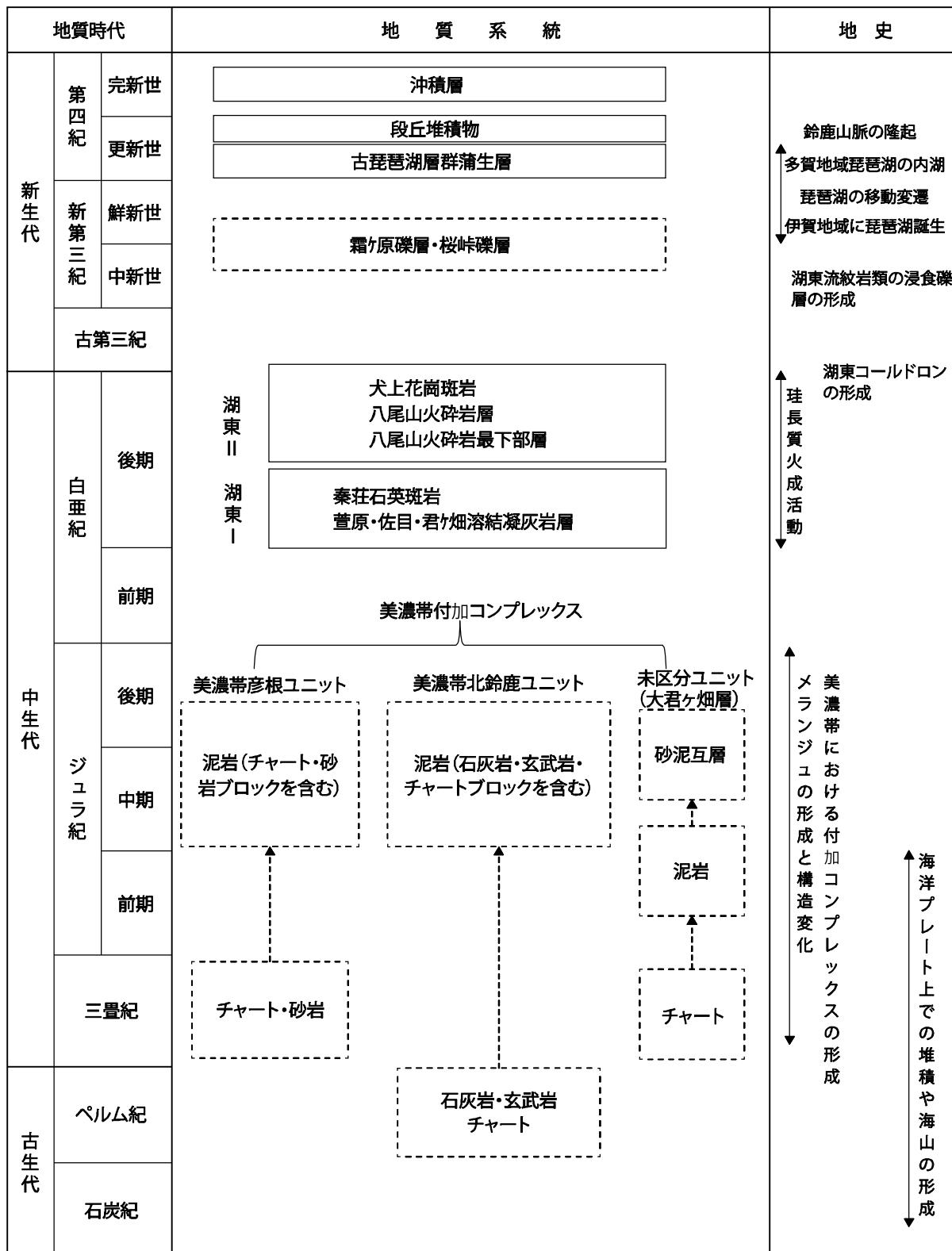


地形や地質の特徴	項目	説明	場所	掲載頁	出典
鈴鹿山脈高所の礫層	箕川礫層（※霧ヶ原礫層 宮坂峠礫層 大秋礫層）	鈴鹿山脈の高所には水が運んだ礫の層が点在して分布する。礫には湖東流紋岩の礫も含まれ、湖東流紋岩でできた山から削られたことを語る。鈴鹿山脈が高くなる前の時代にどんな地形だったかを考える手がかりになる。	東近江市永源寺 箕川町	p107	琵琶湖博物館研究調査報告 26 号
	地点 K 桜峠・梨ノ木峠間の桜峠礫層	多賀町の桜峠をこえると大きな円礫を含み湖東流紋岩などを含み礫の風化が激しい礫層があり、桜峠礫層と呼ばれている。この礫層の時代は蒲生の湖の形成初期なのかそれ以前の礫層なのかははっきりしていない。		p75	改訂 滋賀県地学のガイド（下）
古琵琶湖層群とアケボノゾウの時代	多賀の古琵琶湖層 / 多賀町アケボノゾウの発掘	1993年3月多賀町で貴重な化石の発掘があった。大発見を予期した多賀町教育委員会は工事関係者に協力を求めて本格的な発掘を実施し、下頸の骨を含めほぼ一頭分のアケボノゾウの骨化石を発掘した。この発見が契機になりアケボノゾウを中心としたあけぼのパーク多賀が開館した。		p76-77, p137	改訂 滋賀県地学のガイド（下）
	四手丘陵の化石	多賀町四手丘陵の古琵琶湖層群は今は工業団地の造成の完成でほとんどみられなくなつたが、造成中の調査で多くの化石が見つかり、今は多賀町立博物館に保管されている。	多賀町四手	p169	琵琶湖博物館研究調査報告 26 号
	青龍山麓の古琵琶湖層（Q）	青龍山（333.7）の麓には古琵琶湖層の露頭がみられる。東麓のダイニック滋賀工場の敷地にも露頭があり礫層がみられる。下部に褐鉄鉱の鉄盤が認められたり、藍鉄鉱、亞炭層、火山灰が確認されている。			滋賀県地学のガイド（旧版の1）
	アケボノゾウ発掘地		多賀町四手	p174	琵琶湖博物館研究調査報告 26 号
	富之尾火山灰層を探探しした穴	火山灰は塵き砂などに使われていたが、多賀町富之尾の集落から北東の梨ノ木に向かう小森池川沿いの山麓に富之尾火山灰層（=広域火山灰層の恵比寿峠・福田テフラ）を探探しした跡の横穴があった。1981年には小森池川の北岸に、入り口の高さ1mの横穴があった。2008年には横穴は崩壊して、陥没による凹地地形がその上部の山腹にできた。	多賀町富之尾	p117	琵琶湖博物館研究調査報告 26 号
鈴鹿山脈の上昇	犬上川扇状地	犬上川は延長25km、流域面積110km ² あり琵琶湖に流入する河川では中規模だが、標高140m付近を谷口とする半径7kmの扇状地を展開している。扇端部は標高87m付近まで及び、そこから湖岸までのわずか2kmが氾濫原・デルタとなっている。琵琶湖東岸では最も勾配あり典型的な扇状地である。芹川は上流山地が石灰岩が多く、石灰岩の分解・溶食の影響で礫の供給が少ないので、扇状地が発達しないに比べ、犬上川では湖東流紋岩類が上流域にあるため礫の供給が多い事が関与しているようだ。	多賀町、彦根市、甲良町	p33	琵琶湖博物館研究調査報告 26 号
河岸段丘とナウマンゾウと旧人	久徳のナウマンゾウ化石 一切歯と多数の臼歯	芹川では国道306号越芹川を渡る橋（久徳）の上流の堤壩から下流の名神高速道路の橋付近（中川原）までの川原約2kmにわたってナウマンゾウの化石が多數発見されている。川原の転石から1916年頃から地元の人が発見し、見つかった。最も多い部位は白歯で現在までで14個ある。1998年は現河床に露出した段丘の礫層から切歯が発見され、なぜこの川原からたらさんナウマンゾウかが見つかることという謎の一端が解明された。また最近、ナウマンゾウの化石と共に埋もれていた木片の年代測定から約29000年のものであることがわかった。		p78-79	改訂 滋賀県地学のガイド（下）
	ナウマンゾウの牙・臼歯化石		多賀町中川原	p171	琵琶湖博物館研究調査報告 26 号
	佐目の風穴の縄文遺跡	サメの鍾乳洞は佐目の芹川沿いにある。昭和4年（1929）京大文学部の小牧実業博士らによって調べられ、わずかな土器の破片とそのころのものと思われる動物群骨の出土がみられた。出土した土器の破片は完全な形をしているものはなく大部分は茶褐色で文様のない土器であるがよく見ると縄文時代末期のもの、「加曾利B式前期」の末期縄文式土器の破片と考えられました。また動物群（骨）は直良信夫（早稲田大学）の鑑定でモグラ・ハタネズミなど10種で、貝類もあり、クチペニマイマイなど11種が検出された。		p4 p8	多賀町史 上巻
石灰岩の利用	芹川の「本山石灰」	石灰は古代から白壁として使われていた。伊吹山と芹川筋で産出する石灰は「本山石灰」と名付けられ、京の都で重宝されていた。芹川沿いの中川原、月の木、久徳、八重隕、一円、土田地区で産出する石灰も伊吹山に劣らず上品とされた。		p131	多賀町史 下巻
	石灰岩を焼く釜「攝石」「ひろい石」芹川			p140	多賀町史 下巻
	原石山（昭和35年創業） イワス				多賀町史 上巻
火山灰の利用	富之尾火山灰層を探探しした穴				
亜炭の探掘	犬上炭鉱	富之尾の東北部の山林と付近の田んぼ一帯（町道を東に進み西林寺を過ぎた辺り）にあった。（大正のはじめころ富之尾で発見され、大正7年、採炭活動が始まった。木質亜炭で需要が少なく、大正9年に閉山となつたが、休山状態の後、日中戦争の拡大による燃料需要の高まりで全国的に亜炭が採掘された時期に昭和16年3月「大上炭鉱」と命名され採炭が再開された。北側の小山に向かって3つの坑道があり、掘り出された亜炭は彦根の鐵道筋鉄筋に主に運び出され石炭の補助燃料として使われていたようである。戦後は重油ボイラーや普及するにつれ木質亜炭の需要は減り、昭和36年8月に閉山となつた。）	多賀町富之尾	p231	近江鉛鉱の鉱山の歴史
亜炭の探掘	若林炭鉱	多賀町には犬上炭鉱のほかに、四手の若林炭鉱があり、ここでは彦根の若林生糸（のらの東邦レーヨン）の燃料用亜炭を掘り出していた。	多賀町四手	p238	近江鉛鉱の鉱山の歴史
亜炭の探掘	富之尾炭鉱	多賀町には犬上炭鉱から北へ丘陵を一つ越えたところに富之尾炭鉱がありました。地中には十文字のように坑道が走っていたが閉山前には残った亜炭を掘り尽くそうとしてその柱部分も掘って危険なことがあったようだ。	多賀町富之尾	p238	近江鉛鉱の鉱山の歴史
	ダイニックアストロパーク天空館（昭和62年）			p43	多賀町史
	霧ヶ原気象援助局の口ポット雨量計と日本海側気候の南端の多賀町の気候 降水と積雪と日較差			p74	多賀町史

※参考文献

- 琵琶湖博物館研究調査報告 26 号…「記録しておきたい滋賀県の地形・地質」編集委員会『琵琶湖博物館研究調査報告 26 号 記録しておきたい滋賀県の地形・地質』2011
- 改訂 滋賀県地学のガイド（下）…滋賀県高等学校理科教育研究会地学部会『改訂 滋賀県地学のガイド（下）』2002
- 滋賀県地学のガイド（旧版の1）…滋賀県高等学校理科教育研究会地学部会『滋賀県地学のガイド（旧版の1）』
- 多賀町史 上巻…多賀町史編さん委員会『多賀町史 上巻』1991
- 多賀町史 下巻…多賀町史編さん委員会『多賀町史 下巻』1991
- 近江鉛鉱の鉱山の歴史…中島伸男『近江鉛鉱の鉱山の歴史』1995



[図 1] 多賀町の地質総括図
(多賀町立文化財センター 小早川、但馬作成)

分類	項目	場所	説明
植物	井戸神社のカツラ	向之倉	県指定天然記念物、県下最大のカツラ、樹齢 400 年
植物	保月の地蔵スギ	保月	樹齢 350 ~ 450 年
植物	杉坂峠の御神木	栗栖	4 本、樹齢推定 400 年、県指定天然記念物
植物	時習館のウメ	栗栖	樹齢推定 400 年
植物	西音寺の八房ウメ	中川原	樹齢推定 200 年
植物	飯盛木（男木・女木：ケヤキ）	多賀	推定樹齢 300 年+
植物	滝之宮のシダレザクラ	富之尾	推定樹齢 100 年+
植物	桜峰のシロバナヤマフジ	霜ヶ原	推定樹齢 150 年
植物	藤地蔵のフジ	藤瀬	推定樹齢 150 年+
腹足類	権現谷の陸貝	権現谷	ミカドギセル、モミジヤマキサゴ、イブキクロイワマイマイ、オオケマイマイ他
植物	芹川のカワノリ	向之倉～水谷分岐	
植物	藤瀬のヒツジグサ	藤瀬	ため池の浮葉植物
両生類	芹川のオオサンショウウオ	栗栖	絶滅？
両生類	大君ヶ畑のコガタノブチサンショウウオ	大君ヶ畑	
鳥類	犬上ダムの野鳥	萱原	オシドリ、ヤマセミ、ヒドリガモ、コガモ
植物	靈仙山周辺の好石灰岩性植物		イチョウシダ、ヒメフウロ
植物	靈仙山の早春植物		ニリンソウ、イチリンソウ、ヒトリシズカ、ショウジョウバカマ、セツブンソウ、フクジュソウ、カタクリ
魚類	犬上川上流（南谷）のアジメドジョウ	萱原奥	
魚類	エチガ谷の在来イワナ	エチガ谷	
哺乳類	萱原のムササビ	萱原～舗田	
鳥類	南後谷のフクロウ	南後谷	
鳥類	靈仙山周辺のイヌワシ	今畑～大君ヶ畑	1ペア-
鳥類	丘陵地のオオタカ	富之尾～四手	
哺乳類	河内風穴のテングコウモリ	河内宮前	
哺乳類	落合のモモンガ	落合	鈴鹿山脈で唯一
植物	今畑のブナ林	今畑	
地形	靈仙山のカルスト平原		
化石	ナベイケ（石灰洞）のツキノワグマ幼獣化石	大君ヶ畑	約 3,000 年前
化石	権現谷の螺穴のニホンザル化石	権現谷	約 10,000 年前
動物	河内風穴の洞穴性生物	河内宮前	カワチメクラチビチビゴミムシ、モラリオブシスグライガーイ、コバヤシミジンゾボ
動物	佐目のコウモリ穴固有の洞穴性生物	佐目	サメメクラチビゴミムシ、スズカメクラツチカニムシ
哺乳類	四手のオヒコウモリ	四手	滋賀県唯一の記録
哺乳類	山地エリアのニホンカモシカ	芹川上流部、犬上川上流部	
植物	ササユリ	八尾山ほか	
昆蟲類	ムカシトンボ	大洞谷	
昆蟲類	ハッヂョウトンボ	藤瀬	湿地
鳥類	芹川ダムの野鳥		カルガモ、ヒドリガモ、コガモ
植物	赤坂山のクロヤツシロラン	多賀	
魚類	犬上川のビワマス	富之尾	産卵行動みられる
昆蟲類	高取山のゲンジボタル	藤瀬	
昆蟲類	太田川のホタル	多賀	ゲンジボタル+ヘイケボタル
昆蟲類	芹川上流のヒメボタル	甲頭倉～河内	陸貝食性
哺乳類	山地～里山エリアのシカ		ジビエ
哺乳類	山地～里山エリアのイノシシ		ジビエ
植物	権現谷の紅葉	権現谷	
植物	大瀧神社の紅葉	富之尾	
植物	胡宮神社の紅葉	敏満寺	
貝類	靈仙山カルスト池のマメシジミ		
貝類	山地～里山エリアのミドリシジミ類		
昆蟲類	里山エリアのギフチョウ	富之尾	
鉱物	霜ヶ原の水晶	霜ヶ原（通称赤坂山）	スカルン鉱物
哺乳類	河内風穴のユビナガコウモリ	河内宮前	和歌山県・福井県と往来
植物	藤瀬の湿地性植物	藤瀬	モウセンゴケ、コバノトンボソウ
鳥類	山地エリアのクマタカ	大君ヶ畑	
鉱物	権現洞のムーンミルク	権現谷	微生物が関与している鍾乳石
鉱物	河内風穴の鍾乳石群	河内宮前	
植物	高宮池のヒシ群落	多賀	
両生類	山地エリアのモリアオガエル		
魚類	太田川のカネヒラ	多賀	タナゴ類
魚類	大君ヶ畑のミゾゴイ	権現谷林道	サギ類
哺乳類	河内風穴のコキクガシラコウモリ	河内宮前	越冬集団
哺乳類	小原の穴のコキクガシラコウモリ	小原	通常
両生類	山地エリアのナガレヒキガエル		
爬虫類	山地～里山エリアのシロマダラ		トカゲ食のヘビ
水系	河合不動明王の湧水	権現谷	
鉱物	大君ヶ畑の天然ダム堆積物	大君ヶ畑	16世紀頃の犬上川せき止め堆積物ソバの実化石、炭片→焼烟
鉱物	萱原のマンガン鉱山跡	萱原	菱マンガン鉱

[表 2] 多賀町の特筆すべき自然（2016 年 3 月現在）

『滋賀県で大切にすべき野生生物 滋賀県レッドデータブック 2015年版』(平成28年(2016)4月)において、植物種は640種選定されている。その内、町内で確認されているものは次のとおりである。

絶滅危惧種	イワヤシダ、ミノコバイモ、サルメンエビネ、マヤラン、ミズチドリ、ウチョウラン、オキナグサ、モメンヅル、アオホオズキ、モリアザミ、カセンソウ、ヒメヒゴタイなど
絶滅危機増大種	イチョウシダ、マルミスブタ、セキショウモ、ホンゴウソウ、トキソウ、ヤマトキソウ、シズイ、コウボウ、ヤマブキソウ、トモエソウ、ノタヌキモ、イナベアザミ、ナベナなど
希少種	ハマハナヤスリ、ハコネシダ、イワトラノオ、ヒメサジラン、ビロードシダ、ジュンサイ、ヒツジグサ、ウスバサイシン、アギナシ、ヤナギスブタ、ヒロハノアマナ、キバナノアマナ、ギンラン、キンラン、ホクリクムヨウラン、セイタカズムシソウ、サギソウ、カヤラン、ヒメニラ、ヤマトミクリ、ホシクサ、イワタケソウ、ウキシバ、フクジュソウ、アズマイチゲ、セツブンソウ、ヤマシャクヤク、ビワコエビラフジ、アサダ、ヒナスマレ、ウシタキソウ、カラタチバナ、クロタキカズラ、スズサイコ、オオヒナノウツボ、オウギカズラ、マンキグサ、イブキコゴメグサ、キヨスミウツボ、イヌタヌキモ、シデシャジン、オケラ、タイミンガサ、ニッコウヒヨウタンボクなど
要注目種	アカハナワラビ、アヤメ、チョウセンナニワズ、クリンソウ、レンゲツツジ、イヌノフグリ、コムラサキ、キキョウ、ウスゲタマブキ、ハナビゼリなど
分布上重要種	ヒロハハナヤスリ、クモノスシダ、ホウビシダ、フクロシダ、サジラン、カラクサシダ、コトウカンアオイ、ヒロハテンナンショウ、ヒメザゼンソウ、マルバサンキライ、アマナ、クモキリソウ、ノハナショウブ、タイワンヤマイ、メガルカヤ、キバナイカリソウ、ウスグレイジンソウ、トウゴクサバノオ、シギンカラマツ、ツゲ、ベニバナヤマシャクヤク、ザリコミ、ミツモトソウ、イブキシモツケ、シモツケ、ヨコグラノキ、コバノチョウセンエノキ、コバノイラクサ、タカトウダイ、エゾノタチツボスミレ、イブキトラノオ、トウカイコモウセンゴケ、クロミノニシゴリ、ウメガサソウ、ヤマトグサ、サツキヒナノウツボ、サワアザミ、キンキヒヨウタンボク、コウグイスカグラ、イワツクバネウツギなど
その他重要種	ナガホノナツノハナワラビ、コケシノブ、ヒロハヤブソテツ、タニヘゴ、カタイノデ、クリハラン、イトモ、ヒナノシャクジョウ、エビネ、ナツエビネ、コバノトンボソウ、ヒオウギ、マメスゲ、ミカヅキグサ、マツカサススキ、ウキガヤ、ウシクサ、ミスミソウ、タキミチャルメルソウ、ミヤコミズ、イワウメヅル、ヒメミソハギ、ミズマツバ、ヤナギイノコヅチ、ホソバニセジュズネノキ、ツルガシワ、コバノカモメヅル、スイラン、オグルマなど

[表3]多賀町で確認されている希少な植物種



[写真1]ヤマシャクヤク

●多賀町における各上位計画の詳細

「第5次多賀町総合計画」(平成23年(2011)3月策定)

■将来都市像

『自然や歴史・文化に包まれた、キラリとひかるまち』

■基本目標

- 4つある計画目標の1つに「環境や歴史・文化、風土を大切にしたまちをめざす」とある。
 - ・「自然環境や歴史・文化などの地域資源を活かし、観光や交流が盛んで中心市街地が活性化しているまちをめざします。」
 - ・「地域の歴史や文化が継承され、まちづくりや地域の活力に活かされているまちをめざします。」

■基本計画

「第4節 歴史と伝統文化の継承と活用」があり、以下の文章が明記されている。

①文化財の保護・活用

「歴史と文化資源の掘り起こしと活用に努めるとともに、歴史的文化遺産を保護・継承し、歴史・文化を活かしたまちづくりが必要です。」

歴史的な町並みの保存・活用、伝統文化を継承していく為に保存会組織や後継者の育成、指定・未指定文化財の継続的調査の実施を目標として掲げている。

また、今後の課題として、まちづくり人づくり事業への発展における、具体的な評価根拠や目標数値の設定が挙げられる。また、これまでに知られている歴史文化拠点の連携が目標である。

多賀町都市計画マスタープラン(平成24年(2012)3月策定)

■将来像

『自然の神秘(なぞ)にあふれ 品格ある田園交流のまち』

■目標

- (1) 歴史・文化的景観や農村景観など多賀らしい景観を形成する品格あるまちづくり。
- (2) 神秘(なぞ)にあふれる本町固有の自然・歴史・文化資源を町民の誇りとして守り育て、都市魅力の向上と交流人口の増大に資するまちづくり。

■指定・未指定文化財の継続的調査の実施

4-2 「扇形集約都市構造」の形成

多賀大社及びその周辺地区、胡宮神社及びその周辺地区、大瀧神社を「歴史拠点」とし、多賀大社と湖東三山をつなぐ概念的な信仰軸、及び多賀大社と一の鳥居、中山道、彦根城をつなぐ軸を「歴史交流軸」として位置づけます。

4-3 ゾーン、都市核・都市拠点、都市軸等の整備方向

本町の将来都市構造は、土地利用の基本的な枠組みを示す“ゾーン”、生活をはじめとする都市活動の中心として様々な都市機能が集積する“都市拠点”、地域や自然景観を結ぶ“都市軸”で構成します。

(2) 都市核・都市拠点

5) 歴史拠点【多賀大社及びその周辺地区、胡宮神社及びその周辺地区、大瀧神社】

- ・多賀大社及び絵馬通りを中心とする地区を「歴史拠点」として位置づけ、歴史的な風情を保全するとともに、町のシンボルゾーンとしての重点的な整備活用を図ります。
- ・胡宮神社及びその周辺地区（敏満寺遺跡・青龍山など）、大瀧神社についても「歴史拠点」として位置づけ、地域固有の歴史的景観の保全と活用を図ります。

(3) 都市軸

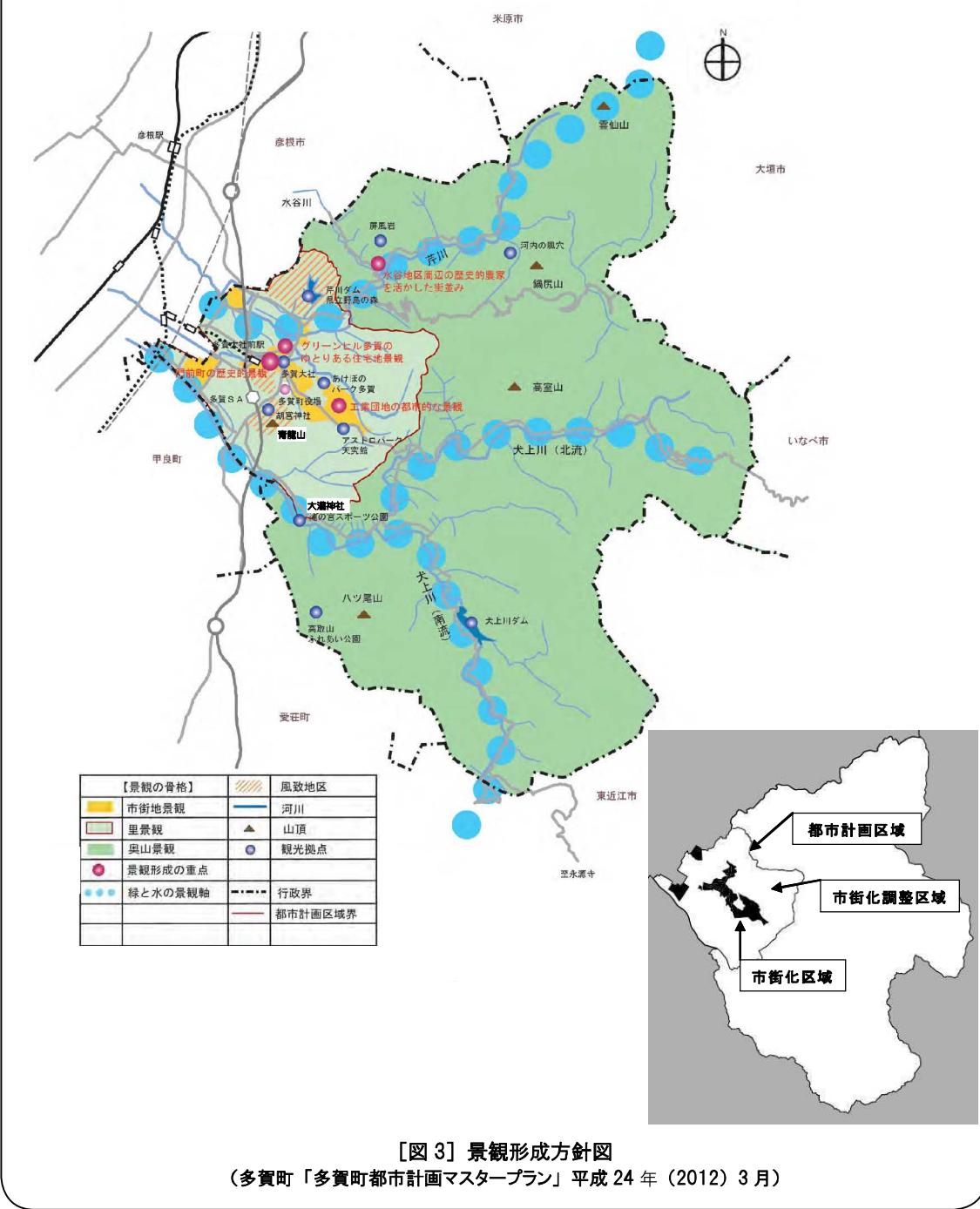
4) 歴史交流軸【多賀大社と湖東三山や彦根を結ぶ概念的な信仰軸・歴史軸】

- ・本町の歴史拠点である多賀大社・胡宮神社と湖東三山（西明寺：甲良町、金剛輪寺：愛荘町、百濟寺：東近江市）とを南北に結ぶ概念的な信仰軸、及び多賀大社と一の鳥居（高宮）、中山道、彦根城を結ぶ歴史軸を「歴史交流軸」として位置づけます。



[図 2] 将来都市構造図
(多賀町「多賀町都市計画マスタープラン」平成 24 年 (2012) 3 月)

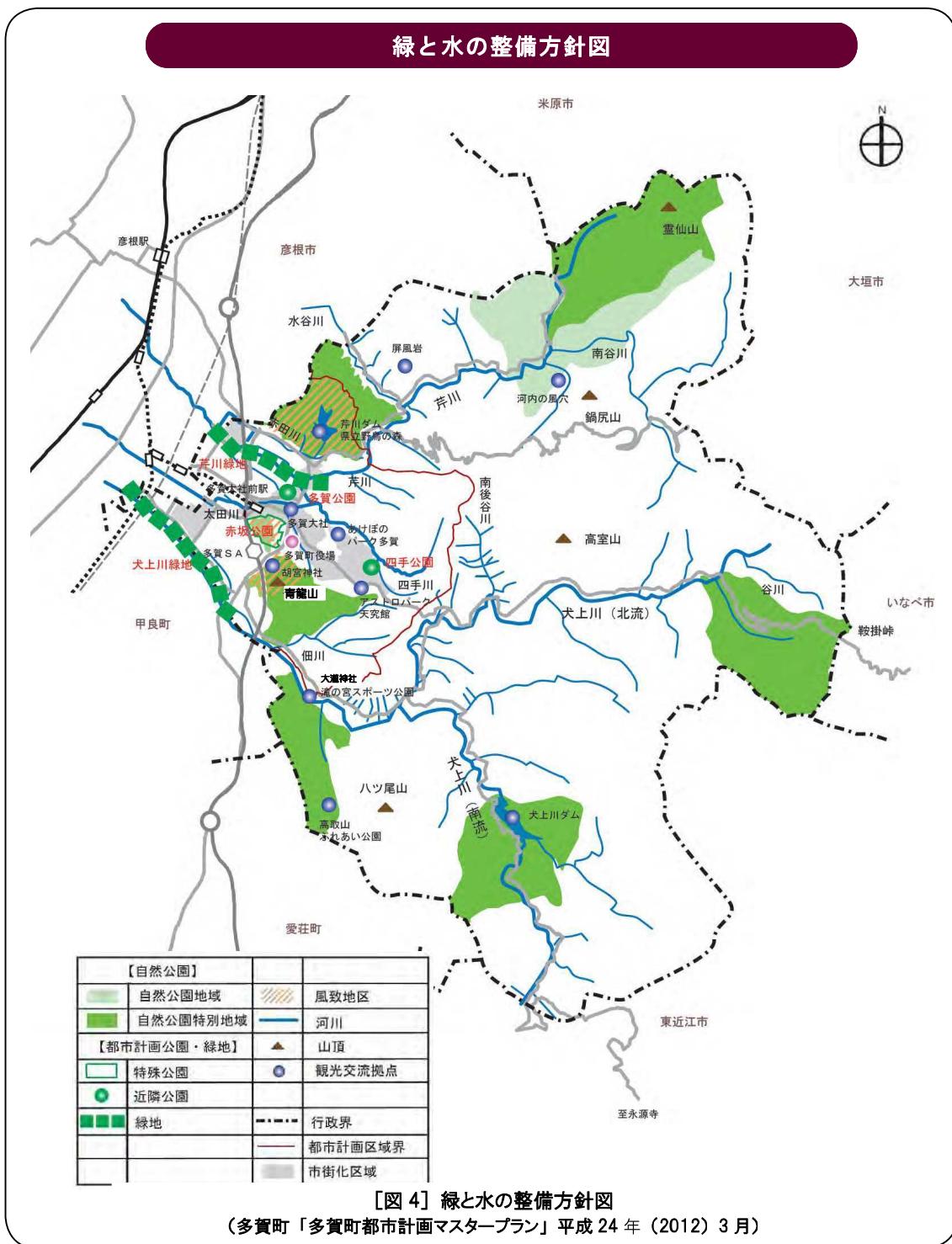
景観形成方針図



景観形成方針では、芹川と犬上川を軸とした3つの谷を緑と水の景観軸としており、魅力的な中山間エリアの価値付けを行っている。また、景観形成の重点地域として、門前町の歴史的景観と水谷地区周辺の歴史的民家集落を活かした町並みを位置づけている。

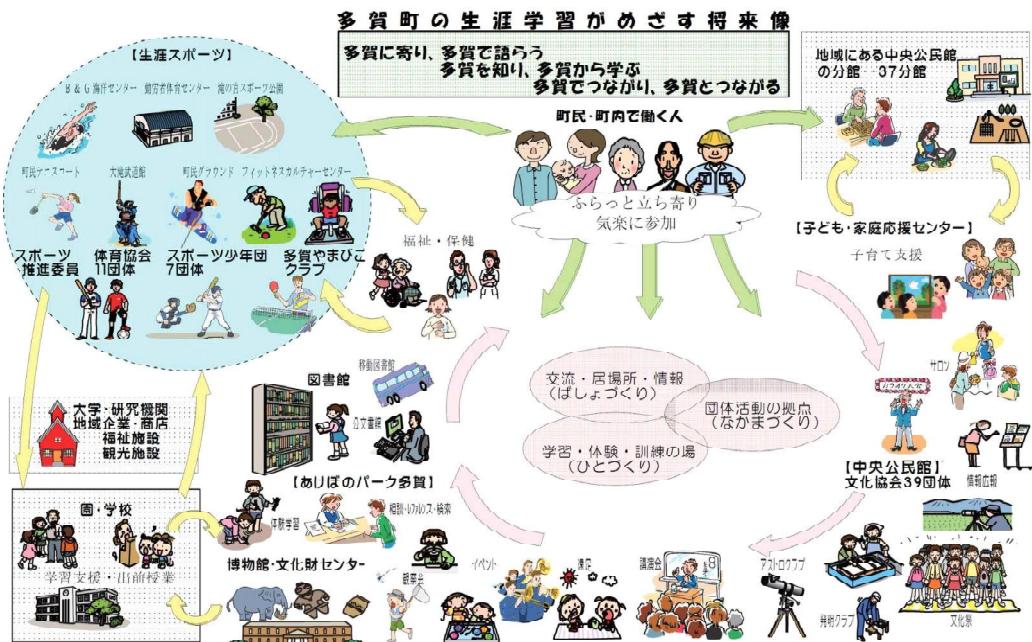
一方、都市計画区域外になっている他の集落景観の評価や具体的な過疎化対策は早急に取り組む課題であるので、調査や記録保存を行い、利活用方法の検討も進め、コミュニティ拠点や交流軸との連動を図る必要がある。また、「滋賀県景観計画」のガイドライン等に基づき、町域の景観評価などから再度着手することが重要である。

緑と水の整備方針図



緑と水の整備方針では、風致地区や自然公園、緑地帯を中心に整備計画を立てている。芹川や犬上川をはじめとする清流の恵み、靈仙山などに連なる鈴鹿山系の山並みなど自然環境に恵まれた町の特色を活かし、眺望計画も含めた見直しや自然遺産・田園景観を取り込んだ計画が必要である。また、多賀大社とも関係する周辺の河川やその利水環境も歴史と繋がっていることから、周辺環境も一体となった整備を目標とする。景観重要樹木に匹敵する巨木や植生が知られており、一定の評価を有しているといえる。

多賀町生涯学習推進基本計画（平成 26 年 3 月策定）



[図 5] 多賀町の生涯学習がめざす将来像
(多賀町「多賀町生涯学習推進基本計画」平成 26 年(2014) 3 月)

■基本計画より関連項目

1-1 魅力ある生涯学習・生涯スポーツの推進

- ・多賀町ならではの学びの発掘と発信

1-2 効果的・効率的な事業の実施

- ・中央公民館、あけぼのパーク多賀（図書館・博物館・文化財センター）の相互連携

1-3 学びの場づくり

- ・学びの拠点施設の整備と連携（公民館分館の活動を中央公民館の活動と連携・連動させる）
- ・生涯学習関連施設の整備や整理（学校施設の共用も視野に、施設整理や制度の検討を行う）
- ・専門職員の配置（拠点としての中央公民館には社会教育主事を、あけぼのパーク多賀には学芸員および図書館司書の専門職員をそれぞれ配置し、町民の学習活動を支援）
- ・文化財の保護と活用（専門職員の能力向上や支援ボランティアの養成、研修会の実施）

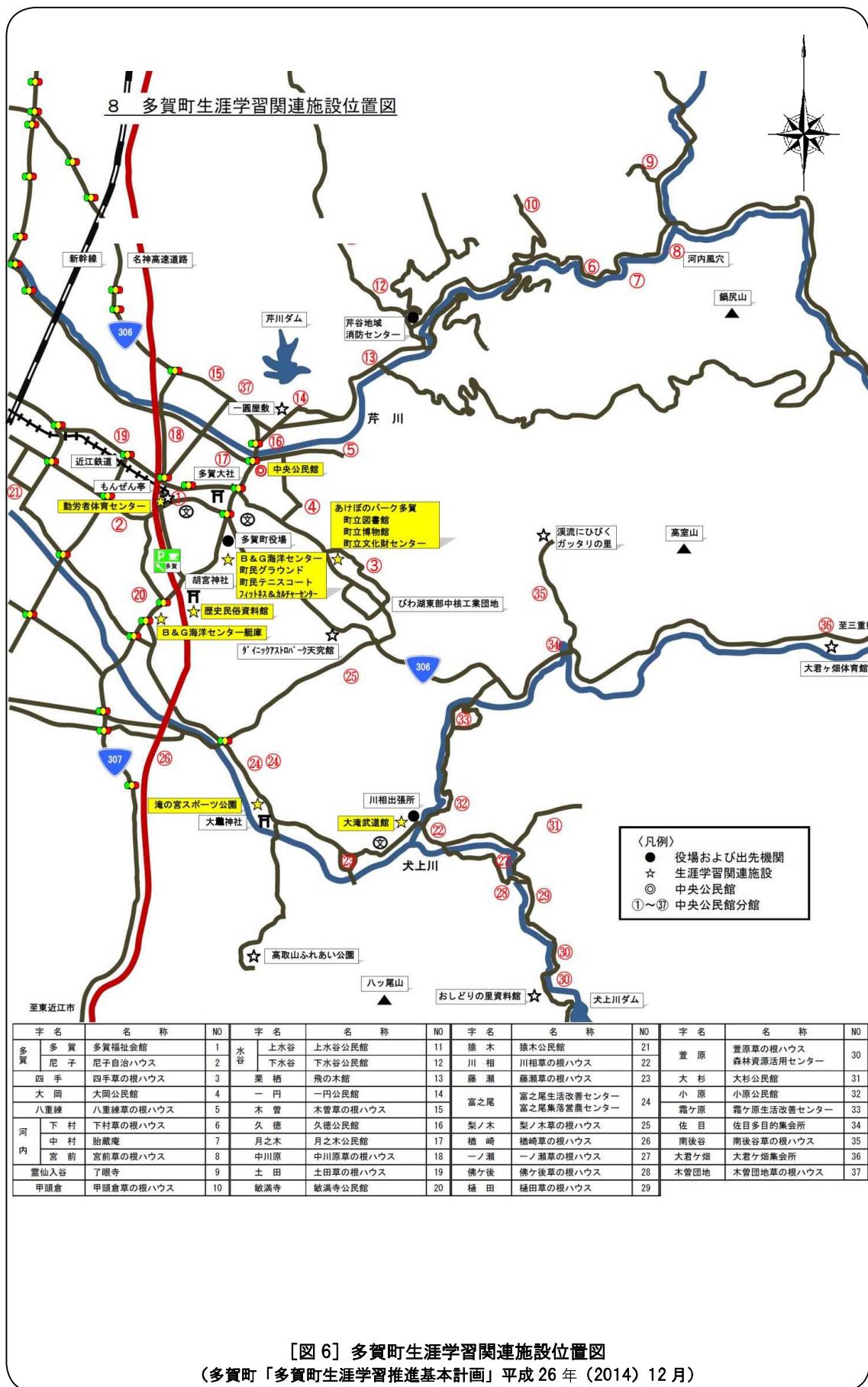
1-4 学習活動の支援

- ・学習情報の収集と学習相談の体制整備と活動の充実
- ・学習サークル・生涯学習関係団体の支援
- ・学習成果の発表機会の充実

1-5 計画の実現をめざして

- ・計画推進の見守り体制の整備
- ・町民の参画
- ・関係機関との連携（教育機関・NPO 法人・地域の企業・寺社仏閣・活動サークル等）

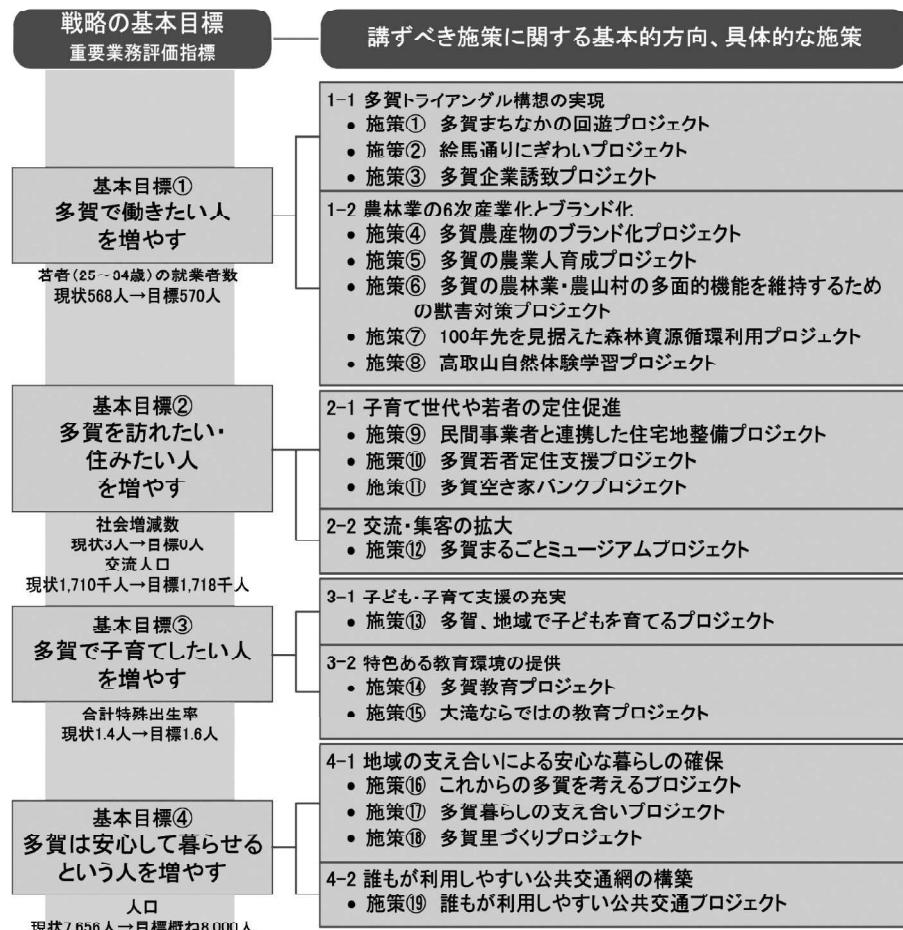
本構想の推進にも関わる学習活動や拠点整備、関係機関との連携についての基本計画である。この計画に基づき、体制整備を検討する必要がある。



多賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 28 年 2 月策定）

■概要

国が 2014 年（平成 26 年）12 月には、2060 年（平成 72 年）までの「国の長期ビジョン」および今後 5 箇年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「国の総合戦略」を策定したが、それを受け、人口推移を踏まえた地方創生の基本方針を策定している。



[図 7] 講ずべき施策に関する基本的方向、具体的な施策の体系図
(多賀町「多賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略」平成 28 年（2016）2 月)

この戦略は、既に行われている町内のまちづくりのきざしを推進・支援し、多様な主体の参画と協働を促進することを基本としている。企画課長 総務課長 税務住民課長 福祉保健課長 産業環境課長 地域整備課長 教育次長 教育総務課長 学校教育課長 生涯学習課長 会計管理者 議会事務局長のほか、地域住民から 10 名、また関連キーパーソンへのヒヤリングなど、総合的な意見集約を踏まえて、各取り組みの関連を模索している。

聞き取り等で検討されたテーマに基づき、多数のプロジェクトが複数の課で各々活動を進めしており、それらを各年次で評価し、情報を策定以後毎年共有している。

これらのプロジェクトにおいて多賀町総合計画で「歴史・文化を活かしたまちづくり」という目標が設定されているが、歴史文化や自然環境においては、関連する事業が多岐にわたる為、横断的な連携が必要であるほか、プロジェクトごとのテーマ設定が多様であるので、継続的な評価・モニタリングが必要である。

多賀町近隣景観形成協定地区

(「ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例および施工規制（風景条例）」)

(昭和 59 年 7 月)、平成 23 年 12 月 28 日公布)

■多賀の門前町を育て、品格があり美しく住みやすい町をつくる協定（多賀区）

(平成 11 年 (1999) 2 月協定)

多賀大社の門前町として栄えてきた地域内の歴史的・文化的に価値の高いまち並みを守り、多賀にふさわしい品格があり、住みよく美しい町をつくる。

- 建築物の形態や色彩、敷地の緑化、公共地の緑化および美化、広告に関する項目

■南後谷「渓流にひびくガッタリの郷づくり」協定（南後谷）(平成 11 年 (1999) 2 月協定)

多賀町南後谷に今も残るきれいな水と美しい木々を守り育てるとともに、活気にあふれ誇りのもてる住みよい郷づくりをおこなう。

- 建築物の形態や色彩、敷地の緑化、公共地の緑化および美化、広告に関する項目

■「緑とコミュニティあふれる川相の町づくり」協定（川相）(平成 19 年 (2007) 2 月協定)

緑豊かな自然を大切にし、花と緑のある美しいまちづくりと、区民がふれあい、魅力ある自治会づくりを行う。

- 建築物の形態や色彩、敷地の緑化、広場・公園の緑化および美化、沿道の花に関する項目

滋賀県の風景条例に基づき、河川景観形成地区に該当する上記 3 つのエリアにおける地域活動を認定地区として多賀町近隣景観形成協定地区と定めたものである。景観法施行前に成立したもので、本町では自治会や地域で景観協定を締結した内容が滋賀県に認定されている。

この締結された内容に関して多賀町役場が近隣景観形成事業として補助金を交付し、地域住民の活動支援を行っている。特に南後谷地区では、ガッタリ（しおどしの原理を応用し、水力を利用した米つき機）を住民の協力で 50 年ぶりに復元させ、町の歴史や自然環境を知ることで、愛着を持てるまちづくりを推進した。この際、河川景観整備も行い、環境に対する地域住民の意識の高まりが報告されたが、それに続く動きはまだ至っていない。

南後谷地区においては、締結から 10 年が経過した平成 20 年度 (2008) に区切りをつけ、公民館活動に移行し、緑化活動等を行っている状況である。



[写真 2] ガッタリ全景



内部 杵と臼



外部 水を貯めるところ

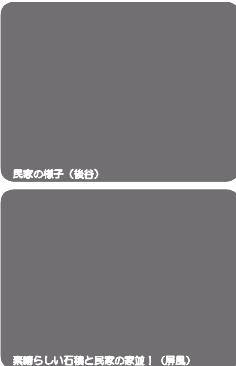


第2回多賀町歴史文化基本構想ワークショップ開催！

平成29年11月5日(土)、後谷・屏風の両集落にて、多賀町歴史文化基本構想に向けた、第2回住民参加ワークショップである「多賀ぶら」を開催しました。秋晴の中、町内の方を中心多くの方々にご参加いただきました。

参加された方に普段見慣れている風景を建築、歴史、景観面で見つめなおし、解説を聞きながら、多賀町のさらなる魅力や価値を再発見しよう！という目的で、伝統的な石横や民歌が残る2つの集落を散策しました。

後谷区長の瀬河様は三重県から帰って来て頂き、屏風では区長の藤本様と集落の皆様にご案内とおもてなしを頂きました。



「多賀ぶら」はこれからどうなる！？



「多賀ぶら」は、住民の方々が自分たちの住んでいるまちの魅力を再発見してもらう目的として、街並み感覚で景観を見直そうという、ワークショップです。

多賀町にはまだまだ多くの歴史文化・自然環境がありますが、ほとんど知られていませんし、消えゆく場所もあります。そうした私たちの多賀町の遺産を引き継いでいくためにも、まず知ることから始めたいたと思っています。そして皆さんのお力から集まつた声を基にして、これから多賀町を作りたいと思っています。知ることや参加することは、歴史文化・自然環境を守る活動の第一歩になります。

「多賀町歴史文化基本構想」では、多賀町の隠れた魅力を知り、共有し、共に学び、それをまちづくりへと反映させるきっかけになればと考えています。また、皆さんからのご意見・ご感想を頂ければと思っています。

多賀町立文化財センター

〒522-0314 滋賀県犬上郡多賀町四手 976-2

TEL: 0749-48-0348

有 線: 2-0348

八幡神社の石垣階段！素敵ですね！（後谷）

皆さまから出たキーワードのまとめ

- 初めて後谷に来ました。私は原石山のあった多賀町佐目に住んでいたので、なつかしく説明を聞かせていただきました。
- かつて原石山があり、にぎやかであった様子などを聞き、下から見ている原石山が身近に感じられました。
- 庵屋が多く、将来の多賀町の山間地域を見ている様でした。
- 時の流れで信仰が薄くなると集落も消えるのかと残念な感じがしました。
- 人が住まなくなるとこんな状態になるのかと思いました。それでも、かつての住民の方が受け継いでいるのは、神社とお寺であることが理解できました。
- 日陰が出来やすい山間部で隣さんにも日が当たるように階段状に屋根をずらしながら配置された集落を見て、人々の優しさを感じました。
- 多賀町に65年住んでいて初めて来ました。素晴らしい歴史文化です。ぜひまた参加したいです。
- 今、住んでいる方はおられないと言いましたが、お寺には、時々集まって来られる方と聞いて少しホッとしています。

このほかにもいろいろな話題が共有されました。

「多賀ぶら」での素晴らしい景観と人との出会いを紹介！

後谷

屏風

八幡神社の階段。すごい造形です！

原石山で働いていた人々の話や、発破作業の話も伺いました。

●多賀町立文化財センター

不思議な模様をつけた石垣岩。
地球のロマンを感じます！

慶長16年の船のある梵鐘。明治初年に光選寺に購入されました。
南都天下一作久怡（きゅういつ）
／弥左衛門とあり、貴重な文化財です！

昭和60年代の様子です。茅葺の家々が多く残され、さながら時代劇の様です。（瀬河区長提供）

後谷区長さんが設置した来訪者への感想を募集するポスト。
こうした交流って素敵だなと思います。

原石山を望みます！

集落の歴史を熱心に語っていただいた坂本さん！ありがとうございました。

石垣岩を丁寧に積み重ねた算木積の景観。江戸時代はじめかも？！

屋根の重なりは
お日様を等しく
受けるための思
いやりですね！

瓦には水生植物
が描かれ、
大火を経験した
人々の防災への
願いが見られま
す。

北野神社は磐座にできたよう
です。古代から人々が祈りをささ
げていた場所は時代を超えて守
られてきているようです。
家の壁は江州こぼうを育てた茶色
の石灰岩風化土を縛って塗られて
います。地産地消の建材ですね！パワースポット！！

[図8] 第2回多賀ぶら ワークショップニュース

多賀町歴史文化基本構想

開催日時：平成29年12月16日（土）午後13:00～16:30 大岡山・博物館

多賀ぶら ワークショップ

ニュース vol.3

発行：多賀町立文化財センター

- 著らしを支えた石の文化 - in 大岡山！ 昔の石切り場を見る！

平成29年12月16日（土）、大岡山～あけぼののパーク多賀に至るコースにて、多賀町歴史文化基本構想の一環の住民参加ワークショップである「多賀ぶら」を開催しました。雪の残る中、32名の皆さんにご参加いただきました。小学生の参加者もあり、にぎやかなイベントでした。残雪で、足元も悪い状態でしたが、お疲れさまでした！

大岡高塚古墳を見た後、集落を越えて、山に入りました。大岡の集落には、大岡山で産出した湖東流紋岩を使った民家の石道を発見！これは明治の頃にたくさん作られたようで、多賀大社前駅のプラットホームなどにも使われたことがわかっています。その後、道なき道を歩いて、大岡山の頂上付近の石切り場に向かいました。身近な山が、実は太古の火山の痕跡だった、古代からの石の产地だったのです！普段見慣れた石ですが、わくわくした面白い話で、地域のさらなる魅力や価値を再認識した多賀ぶらでした！多賀町っておもしろい！

今回の案内は、多賀町立博物館の小早川 隆 館長と本田 洋 係長でした。



「多賀ぶら」は、住民の方々が自分たちの住んでいるまちの魅力を再発見していただくことを目的として、3回目を終みました。

まだ多くの歴史文化・自然環境がありますが、日々何気なく見ている景色も、歴史文化や自然環境の特色を見つめながら歩くこと、知る楽しさという、知的好奇心を惹き立ててくれる魅力があふれている事に気が付かされます。そして先人の知恵と勇氣ももらえます。

私たちの町の魅力を今回ばかりは学生も一緒に見て感じることができました。世代を経て共に歩き続けること、それは素晴らしいことと思いました。

そして皆さんの参加から地元の貴重な声が届きますと、地元に残された出来事や歴史を語りして、過去の事、これから的事が明らかになります。そしてこれからの大岡町を作っていくことを感じます。ぜひご参加ください！

身みながら自分たちの事を探る「遊び」は歴史文化・自然環境を守る活動の第一歩なのです。

「多賀町歴史文化基本構想」は、多賀町の隠れた魅力を知り、共有し、共に学び、それをまちづくりへと反映させるきっかけになればと考えています。

お問い合わせいただければ、次回のご案内をいたします。共に多賀を歩きましょう！

多賀町立文化財センター
〒710-0314 岐阜県大野郡多賀町白手 978-2
TEL: 052-49-0348 開業: 2-0348



記念撮影を壮大な歴史ロマンの岩でパチリ！



大岡高塚古墳

不思議な模様をつけた湖東流紋岩。この模様は地下のマグマが噴出したときの流れの跡で、石窓に使用されている石にも同じ模様が見つかっています。この模様を石の指紋と例えるならば、大岡山の石の指紋が石窓の石についているようなもの？昔の石窓の材料特定ができるなんて、すごい発見！多賀町立博物館には、発見した名探偵がいるんですね！



発掘時の大岡高塚古墳石室

大岡の集落には、地域で産出した石を使って集落が形成されています。漆喰（コテで描いた浮き彫りの模様）も素晴らしい蔵！地元材料の景観って素晴らしいですね！



小早川館長の説明では、この山頂の岩の表面に確かにそつて筋が見えるのは、マグマが噴出した流れの跡だそうです。この筋は多賀地域においても大岡山だけ見られるとか！神代の指紋のように、大岡山の古墳造営において、この石を利用した証拠であるといえそうです！数千万年におよぶロマン！これは面白かったです！まさにパワースポット！



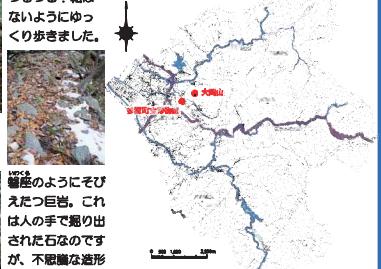
石切り場には昔の人々が削った石の破片がいっぱい散乱しています！



石のようにそびえたてた巨岩、これには人の手で掘り出された石なのです！が、不思議な造形です。

小早川館長も岩山では元気百倍！子どもたちにも負けいません！

大岡山



山の上で掘り出した岩を八重ヶ集落側の谷へと転がして運んだのです。こんなに重くて大きいのに！大変だね！



博物館に戻ってから、さらに詳しい石の話を聞いたしました。琵琶湖に浮かぶ沖の島から多賀の山々までぐるりと円形に燃焼地力を蓄ってしまった力丸デラ噴火の痕跡！地球ってすごいですね。

あけぼのパーク多賀にて

「多賀ぶら」 in 大岡山！ 何気ない石にも、こんな歴史文化・自然環境のロマンが詰まっています！

[図9] 第3回多賀ぶら ワークショップニュース

<p>講演会等</p> <p>第1回 講演会 『多賀町の自然からこれからを考える ～宝の山 多賀町の地形地質～』</p> <p>講師：藤本秀弘氏（山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会会長） 平成29年2月11日（土）14:00～</p>	<p>第2回 講演会と座談会 『化石発掘とまちづくり』</p> <p>講演会 「もっと身近しよう多賀町のゾウ化石・シカ化石」 講師：高橋啓一氏（滋賀県立琵琶湖博物館 副館長）</p> <p>座談会 「化石でよみがえる多賀のまち」 座長：藤本秀弘氏 座員：高橋啓一氏・小早川隆 信（多賀町立博物館館長） 平成29年2月26日（日）14:00～16:30</p>	<p>第3回 研究発表会ピシンボジウム 多賀町立博物館研究発表会「私たちの自然遺産」 6人の方に採用していただく予定です。</p> <p>シホ ジリム 「然を活かした地域の未来」 コーディネーター：藤本秀弘氏 パネリスト：村長 駿義氏・中 氏 (滋賀大学地質学講師) (多賀町立博物館議会委員)</p> <p>平成29年3月11日（土）13:00～16:30</p>
---	--	--



[図10] 自然史講座の内容

山門水源の森は滋賀市西端井町にあります。里山に囲まれた県内最大級の湿原があり、特徴のある生態系が広がっています。水河原から存在するこの森は現在、危機を迎えています。その最も危険なものはシカの食害です。

今回の展示では歴史対策を含め、これまでの森の保全の歩みを紹介します。2001年に実現した「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」では、将来ビジョン「山門水源の森 2050」を策定し今後の森の守り方についても議論されています。その内容は県内外を問わず森を守ろうとしている人のヒントになると思います。

今回の展示は、平成28年10月に琵琶湖博物館でも開催されました。

期間：平成 年 月 日（土） 月 日（日）

歴史講座

会 場：あけぼのパーク多賀 大会議室

定 員：40名（定員になり次第受付終了します）

受 講 料：4回共通 1,000円（当日納付してください）
(各講座を400円で受講していただけます)

申込方法：電話・FAX・メールでお願いします。

多賀町立文化財センター
TEL 079-48-0348 FAX 079-48-2078
E-mail : bunkazai@town.tags.lg.jp

第1回 9月10日(土)
14:00～15:30
古民家を活かしたまちづくり
浜崎 一志 氏
(滋賀県立大学)

多賀町内にはたくさんの貴重な古民家が現存しています。文化財としてこれからどのように進めることができるのか？これからのわたしたちのまちづくりを考えてみたいと思います。多くの皆様にご参加をいただき、ご意見もお聞いできたらと思います。お気軽にお参加ください。

第2回 9月24日(土)
14:00～15:30
多賀の民俗の特色
市川 秀之 氏
(滋賀県立大学)

消えてしまう集落や地域の行事など、意外と知らない大切な歴史文化がたくさんあります。地域の特色を民俗からみてみましょう。

第3回 10月8日(土)
14:00～15:30
多賀大社の境内と周辺の景観
井上 ひろ美 氏
(華頂短期大学)

多賀大社の境内や多賀の町並みは、徐々に変化を見せながらも古い姿を残しています。多賀大社の境内を含む景観について、様々な視点から考えます。

第4回 10月29日(土)
14:00～15:30
近江における庭園文化について
吉村 龍二 氏
(京都造形芸術大学)

滋賀県は、全国で2番目に国指定の庭園が多い県です。多賀町にある2件の指定庭園を含めて、庭園文化という考え方で、歴史文化を探ります。

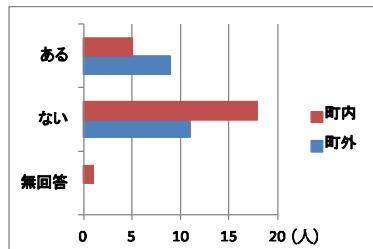
今年度、多賀町教育委員会で「多賀町歴史文化基本構想」を策定します。歴史文化と自然を活かしたまちづくりを具体化するために、今、何が問題で、これからどのように進めることができるのか？これからのわたしたちのまちづくりを考えてみたいと思います。多くの皆様にご参加をいただき、ご意見もお聞いできたらと思います。お気軽にお参加ください。

日 時	平成29年11月23日（木・祝日）14時～
場 所	多賀町総合福祉センター「ふれあいの郷」 3階 多目的運動室
基調講演	14時～15時 「多賀の歴史文化遺産の現状」 講師：市川秀之（滋賀県立大学） 「これから歴史文化のまもりかた」 講師：北原誠也（（株）環境基盤計画研究所）
シンポジウム	15時～16時30分 パネリスト 市川秀之 北原誠也 大沼芳幸 中川信子（多賀町文化財保護協会） コーディネーター 平居晋（（一社）せノ実） 講師：大沼芳幸（公財）滋賀文化財保護協会
申し込み	不用（当日、自由にご参加ください。） * 内容は中学生以上の方対象です。 子ども同伴は結構です。

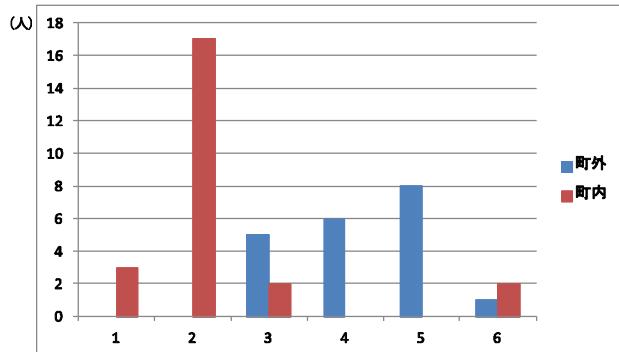
[図11] 歴史講座・シンポジウムの内容

●歴史文化基本構想に関するアンケート調査結果

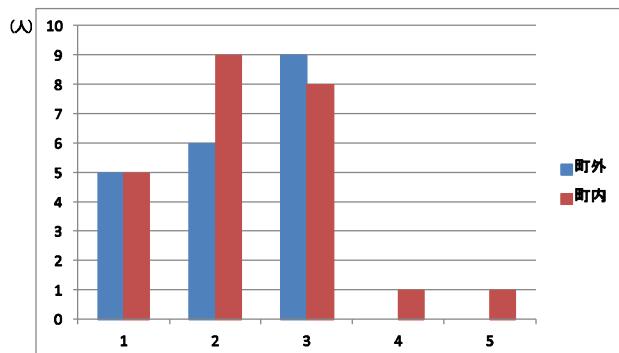
Q 多賀町歴史文化基本構想を聞いたことがありますか。
(N=44)



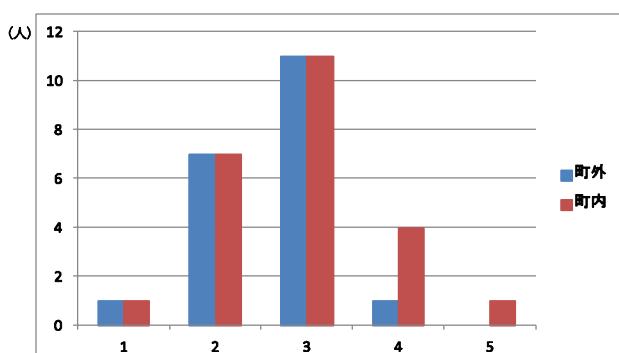
Q 地域の行事にどの程度参加していますか。 (N=44)



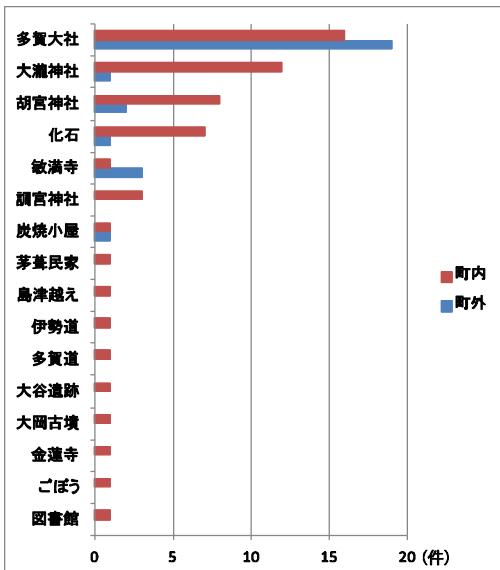
Q 歴史文化に関する講演会やイベントに参加したいと思いますか。(N=44)



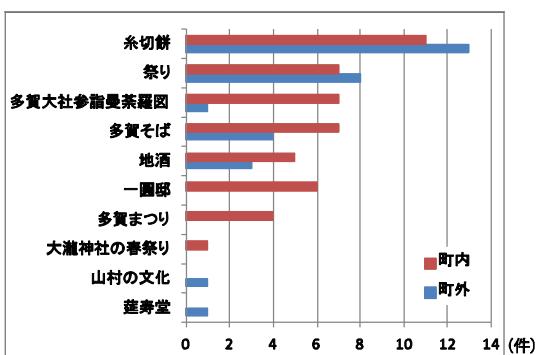
Q まちづくりの会合に参加したいと思いますか。
(N=44)



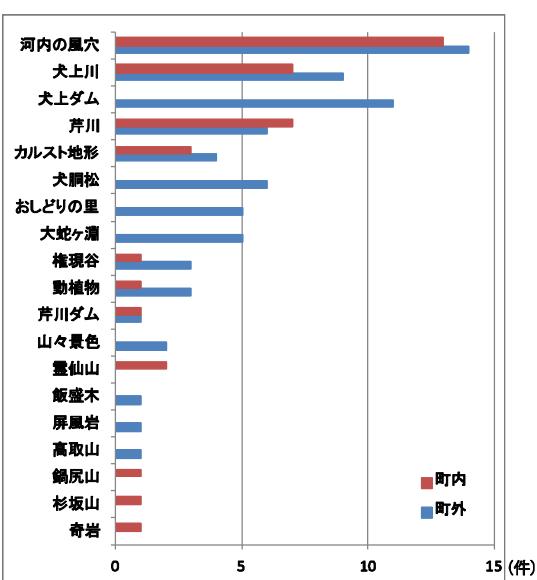
Q 多賀町の歴史で自慢したいところはどこですか。
(複数回答可・自由記述)



Q 多賀町の文化で自慢したいところはどこですか。
(複数回答可・自由記述)



Q 多賀町の自然で自慢したいところはどこですか。
(複数回答可・自由記述)



卷末資料

時期	行事など	地区	食の名称	食材	説明
1月 1日	正月	萱原	雑煮・醤油仕立て・角餅	揚げ・豆腐(自家製) 大根	「代々豆に」「代々=大根」「まめ(元気)に=豆腐」
1月 1日	正月	敏満寺	雑煮・合わせ味噌・切り餅	かぶら・ネギ・かまぼこ	味噌は、家で麹を混ぜて作っていた。正月らしいことをし始めたのはテレビの影響。
1月 1日	正月	久徳	雑煮・ひと口サイズより大きめの餅		切るのは縁起が悪いので
1月 1日	正月	久徳	雑煮・合わせ味噌・	大根・人参・かぶら・ネギ・油揚げ	丸く生きるため輪切り。細く長く生きるため細切り。1日は包丁使わず、大晦日に切る。
1月 1日	正月	河内下村	雑煮・丸餅	大根・人参・蕉・ネギ・揚げ・里芋	
1月 1日	正月	河内下村	雑煮・味噌		長男は、カシラになるようにと親芋をいれる。
1月 1日	正月	河内下村	雑煮・すまし		
1月 1日	正月	大杉	雑煮・すまし・丸餅	人参・ネギ	家族が円満に過ごせるように丸餅。
1月 1日	正月	大杉	雑煮・すまし・焼いた角餅	かまぼこ・小芋・揚げ・ネギ	普段は味噌汁だが、正月のみ醤油仕立て
1月 1日	正月	大杉	雑煮・すまし・切り餅	豆腐・ネギ・里芋(親芋)・揚げ	いつか頭になるように家族全員、親頭(小さめの親芋)を食べる
1月 1日	正月	大岡	雑煮・合わせ味噌・丸餅		
1月 1日	正月	甲頭倉	雑煮・味噌・丸餅	揚げ・ネギ	お餅がある限り作った。手作り味噌
1月 1日	正月	多賀	雑煮・すまし・丸餅	かまぼこ・ネギ	
1月 1日	正月	南後谷	雑煮・すまし・角餅	かまぼこ・ネギ・油揚げ	
1月 1日	正月	栗栖	雑煮・味噌・ハマグリ(ひと口大の丸餅)	揚げ・大根・里芋・ネギ	
1月 1日	正月	河内宮前	雑煮	白味噌・丸餅・カブラ・里芋・アゲ	調理は囲炉裏でした。マメになるように、マメで作ったお箸で食べた。
1月 1日	正月	大岡	雑煮	白味噌・角餅・大根など	里芋・油揚げ・ネギを入れた。味噌は家で作っていた。
1月 1日	正月	南後谷	おせち呼び		親戚や兄弟、親元に行き食事をする。
1月 1日	正月	南後谷	棒鰻と里芋を炊いたの	里芋・棒鰻	棒鰻は、多賀の「やおひで」で買った。
1月 1日	正月	南後谷	魚を炊いたの		
1月 1日	正月	南後谷	煮物	人参・大根・ゴボウ・椎茸・蓮根	
1月 2日	正月	久徳	雑煮・すまし・ハマグリ(ひと口大の餅)		特に決まりはない
1月 2日	正月	栗栖	「三種肴」黒豆	黒豆	ゴマメ・黒豆・数の子を「三種肴」という。「よびし」に出した。
1月 2日	正月	栗栖	「三種肴」ゴマメ	イリコ	ゴマメ・黒豆・数の子を「三種肴」という。「よびし」に出した。
1月 2日	正月	栗栖	「三種肴」数の子	数の子	ゴマメ・黒豆・数の子を「三種肴」という。「よびし」に出した。
1月 2日	新年会	南後谷	お酒	3升	門徒さんの新年会。小皿に5品。10~12皿の小皿40人前作っていた
1月 2日	新年会	南後谷	コンニャク	コンニャク	10丁分煮た。三角に切る。
1月 2日	新年会	南後谷	黒豆	黒豆	7合炊いた。昼間は練炭の火にかけて、3日間かけて作った。
1月 2日	新年会	南後谷	タツクリ		砂糖・醤油と酒をちょっと入れるとからまらずバラバラに仕上がる。
1月 2日	新年会	南後谷	カマボコ	カマボコ	紅白のかまぼこや松竹梅
1月 2日	新年会	南後谷	たたきごんぼ	ゴボウ	ゴボウ10本分作った。
1月 2・3日	正月	栗栖	雑煮	白味噌・丸餅	京都のお雑煮
1月 3日	鏡割り	大杉	鏡割り	餅	焼いて食べる
1月 3日	正月	久徳	鏡餅を切る		水餅にして10日以降に食べる。
1月	正月	河内下村		ネギ	祝の席にネギは使わない
1月	正月	敏満寺	たたきごんぼ		
1月	正月	大杉	たたきごんぼ	ごぼう・酢・砂糖・唐辛子	ごぼうの皮をそいで米のとぎ汁に浸けるとアツがとれる。
1月	正月	甲頭倉	たたきごんぼ		酢・醤油・すりごま。
1月	正月	川相	たたきごんぼ		
1月	正月	敏満寺	くるみごんぼ	ごぼう・くるみ	河内出身の奥さんが、ごんぼとくるみを和えていた。
1月	正月	敏満寺	黒豆		
1月	正月	久徳	黒豆	黒豆	
1月	正月	桃原	黒豆		
1月	正月	大杉	黒豆		
1月	正月	敏満寺	棒鰻		
1月	正月	萱原	棒鰻		
1月	正月	久徳	棒鰻		

[表4] 各地域の郷土食リスト(聞き取り調査)(P.127~131) ※地区については、調査対象地区のみを記載する。

時期	行事など	地区	食の名称	食材	説明
1月	正月	川相	棒餈	棒餈	
1月	正月	桃原	芋棒		小芋と棒餈を炊いた
1月	正月	萱原	かずのこ		
1月	正月	久徳	かずのこ		29日に娘と作る。昭和44年の本を参考に20種類作っている。
1月	正月	大杉	かずのこ		
1月	正月	萱原	赤豆を甘く炊いたもの		
1月	正月	萱原	おたふく豆を甘く炊いたもの		そら豆サイズの豆
1月	正月	萱原	おにしめ		
1月	正月	久徳	煮しめ		
1月	正月	栗栖	煮しめ	蒟蒻・人参・鶏・椎茸・里芋・ゴボウ	
1月	正月	久徳	酢ごんぼ	ゴボウ	
1月	正月	久徳	煮ごんぼ	ゴボウ	
1月	正月	桃原	イトコ煮		小芋と小豆を煮る。山形の料理か？
1月	正月	久徳	昆布巻き	昆布	
1月	正月	大杉	昆布巻き		約3cmに切ったニシンを巻いた。かんぴょうが無い時は竹の皮で結んだ。
1月	正月	栗栖	ニシンの昆布巻き	ニシン・昆布	29日から作る。ニシンは米のとぎ汁に浸けておく。シュロの葉で結ぶ。
1月	正月	桃原	すき焼き		夜にする。
1月	正月	多賀	すき焼き	鶏肉	牛肉はほとんどなかった
1月	正月	栗栖	すき焼き	牛肉	多賀の山田肉屋で買った。
1月	正月	萱原	すき焼き	牛肉	親戚・近所の人と。御用聞きが来て注文した。牛肉一貫目(4kg)竹の皮に包んでいた。
1月	正月	大杉	ゴマメ		フライパンで炒って醤油と砂糖で味付け
1月	正月	川相	ゴマメ	イリコ	
1月	正月	敏満寺	たつくり		
1月	正月	久徳	たつくり		
1月	正月	大杉	ナマス	大根・人参・昆布	千切り塩もみ、油揚げ・かんぴょう・干し椎茸を煮たのを酢・砂糖・味噌で和える。
1月	正月	栗栖	紅白なます	大根・人参	
1月	正月	大杉	コンニャク・里芋・ゴボウを炊いた		
1月	正月	栗栖	きんとん	栗・芋	
1月	正月	久徳	きんとん	サツマイモ	
1月	正月	栗栖	海老酢漬け	エビ	
1月	正月	栗栖	ぜんざい	小豆	お正月から炊いていた。
1月	正月	川相	丸餅・出汁	ネギ・かまぼこ	揚げはくどいので、出汁にして取り出す。
1月	正月	萱原	ガヤを煎ったもの	ガヤ(カヤの実)	アーモンドのような実。干すとはじける。割ってアラレ煎りで煎る。
1月	正月	桃原	鶏	鶏	えびす講でひよこを買って来て育て、玉子を生まなくなると解体してハレの日に食べた
1月	正月	久徳	のし鶏	鶏	
1月	正月	河内宮前	豆・栗・カヤの実	豆・栗・カヤの実	「マメでくりくり、かやかや(がやがや)」と言う意味で、栗の木の箸で食べた。
1月	正月	河内宮前	おせち	たたきゴボウ・コンニャク・カマボコ・田作り	田作りは囲炉裏で作った。
1月	正月	桃原	こつくり	餅	生きた餅を十数匹買い、家の前の井戸で泳がせておく。
1月	正月	桃原	盛り合わせ		とんかつ・サラダ・リンゴ等
1月	正月	敏満寺			餅を焼いて食べる。
1月7日	七草	河内宮前	七草粥	芹	近くの川で芹を探って粥にした。ナズナなど他のモノはその年によって違うが、芹は必ず入った。
1月7日	七草	桃原	七草粥	大根・カブ・ハコベ・餅	1升餅は床の間と神棚。仏壇・農業倉庫・台所・お地蔵さん・車・机などに小餅を飾る。
1月7日	七草	久徳	七草粥・丸餅	すずな・すずしろ・人参の葉など	七草は買って来ないで畑にあるものです。
1月7日	七草	河内下村	七草粥		今はしていない
1月7日	七草	大岡	七草粥		昔はしていなかったが、最近はしている。
1月7日	七草	南後谷	七草粥	大根・カブラ・セリ	セリは採りに行った。他の七草は雪の下。
1月7日	七草	栗栖	七草粥	大根・カブラ・セリ・ホウレンソウ	家にある野菜で作った。
1月7日	七草	川相	七草粥	大根・かぶら・人参の葉	

卷末資料

時期	行事など	地区	食の名称	食材	説明
1月 7日	七草	萱原	ナミソ	白菜・揚げ・豆腐・角餅・白噌仕立て。角餅に米が煮えてくっつく。	
1月 7日	七草	大岡	ぜんざい	小豆	七草粥な食べなかった。
1月 10日	鏡開き	久徳	ぜんざい		鏡もちをぜんざいにする。
1月 11日	鏡開き	栗栖	鏡開き	餅	カビが生えるので三が日が終わったら切る。
1月 14日	小正月	桃原	小豆粥	小豆	朝から食べた。
1月 15日	小正月	萱原	アルキナユ（小豆粥）	角餅・米・小豆	角餅に米ひとつかみと小豆を塩ゆでし仏さんに供える。食べるとき砂糖を足す。
1月 15日	小正月	桃原	小豆粥	小豆・餅	小豆は先に炊いて、米と焼いていない餅を入れる。塩味。
1月 15日	小正月	久徳	小豆粥	小豆	塩味
1月 15日	小正月	河内下村	小豆粥	小豆	今はしていない
1月 15日	小正月	川相	小豆粥	小豆	
1月 15日	小正月	河内宮前	小豆の粥	小豆	甘くない
成人の日	成人の日	大杉	小豆粥	小豆・餅	
11月～2月 3日	おとりこし	川相	シライ（白和え）	人参・コンニャク・ホウレンソウ・豆腐	練りゴマ・白味噌・砂糖・みりん（少し）で和える。
11月～2月 3日	おとりこし	川相	丁子麩の辛子和え	丁子麩・キュウリ（最近入れる）	酢・醤油・すりごま・練りゴマ・白味噌・粉辛子・少し豆腐を入れる。
11月～2月 3日	おとりこし	川相	ゴボウと人参のオアイ	炒りゴマ	こってり甘辛く炊いて（すき焼きのタレで代用する）炒りゴマをすらすらと和える。
11月～2月 3日	おとりこし	川相	酢の物		
11月～2月 3日	おとりこし	川相	コンニャクの煮しめ	コンニャク	三角に切る。正月は結ぶ。
11月～2月 3日	おとりこし	川相	カブラの酢の物	カブラ・昆布・三杯酢	
11月～2月 3日	おとりこし	川相	つるんぼし	渋柿	吊るし柿
冬	お講	桃原	お講汁	揚げ・豆腐・蕪・ネギの味噌汁	当番の家が、角樽に入れて持つて行く。お椀を各自持つて集まった。
冬	おこない	河内下村	鮒ずし・漬物・酒の肴		家にあるものを持ち寄った。
冬	おこない	河内下村	シンコ	米を家で挽く・砂糖は入れない	5～7cmのダンベル状にして両端を軽くつぶす。茹でる。囲炉裏で焼いてよばれた。
冬	おこない	河内下村	くるみごんぼ	クルミ・ゴボウ	山のクルミを煎って甘味噌で和える。
冬	おこない	河内下村	炊き込みご飯・カレーライス		今は炊き込みご飯かカレーライス。
2月 3日	節分	大岡	鰯の丸焼き	イワシ	最近になって始めた。
2月 3日	節分	栗栖	鰯を焼く	イワシ	
2月 3日	節分	桃原	イワシ	イワシ	イワシを食べ豆まきをする。
2月 16日	太子講	桃原	カブラ・大根の味噌汁	カブラ・大根	イエで作った一品を持ち寄り、皆でご飯を食べた。区長がご飯を炊いた。
3月 3日	ひな祭り	桃原	三色ひしもち・あられ		白餅と、ピンク・緑の色粉を入れ、のばした餅を包丁でひし形に切った。
3月 3日	ひな祭り	栗栖	ばら寿司	干びょう・高野豆腐・人参・椎茸	ピンクのかまぼこ・チリメンジャコ・紅ショウガ・キヌサヤ。
3月 3日	桃の節句	河内宮前	菱餅	よもぎ	よもぎのお餅をのばして菱形に切った菱餅を食べた。
3月 13日	春の奉仕作業	敏満寺	カシワ飯	鶏	春の奉仕作業後、鶏を1匹つぶして食べた。
彼岸	彼岸	桃原	ぼたもち	餅・小豆	
彼岸	彼岸	萱原	彼岸団子	米粉・餅粉・餡	昔は寺で作った。
春・秋	祭り	栗栖	すき焼き	牛肉	多賀の山田肉屋で買った。
春・秋	祭り	萱原	すき焼き	牛肉	
春・秋	祭り	多賀	すき焼き	鶏肉	
春・秋	祭り	久徳	すき焼き	かしわ	飼っていたニワトリを殺した。農協のあっせんでひな鳥を注文して買った。
春・秋	祭り	甲頭倉	すき焼き・バーベキュー	牛肉	
春・秋	祭り	敏満寺	ちらし寿司		ジャコ・かんぴょう・干し椎茸・人参・山椒・錦糸玉子が入っていた。
春・秋	祭り	大岡	ちらし寿司		
春・秋	祭り	久徳	ばら寿司		重箱二段に作って近所に配った。春は餡入りヨモギ餅、秋は白い餅。
春・秋	祭り	久徳	ばら寿司	かんぴょう・干し椎茸・高野豆腐・人参	2升炊いていた。トッピングは、錦糸卵、紅ショウガ、ブンドマメ（さやいんげん）

時期	行事など	地区	食の名称	食材	説明
春・秋	祭り	大岡	ぼたもち	粒あん・きなこ・黒ゴマに砂糖を混ぜた	近所におすそ分けした。
春・秋	祭り	久徳	餅	もち米	
4月頃	祭り	久徳	ヨモギ餅	ヨモギ	
4月 20日	祭り・胡宮 神社	敏満寺	餡入り餅	ヨモギ餅・肉桂餅・紅白餅	親戚を持って行った。
4月 21日	古例大祭	栗栖	宵宮団子（ヨミヤダンゴ）	餅・炊いたご飯・ヨモギ・	餡入り・ヨモギ団子・白い団子・ピンクのお餅。重箱に詰める
4月 22日	古例大祭	栗栖	鮎を炊いたの	鮎	
4月 22日	古例大祭	栗栖	ばら寿司		持ち帰ってもらうように作った。
5月 4日	萱原祭り	萱原	ヨモギ団子	ヨモギ	昔はイエで作った。
5月 5日	端午の節句	大岡	柏餅		買ってきて食べた
5月 5日	五月節句	桃原	ポンガラ餅	米粉・餅粉・餡	イバラの葉二枚ではさんだ。
5月 5日	子どもの日	栗栖	ポンガラ団子	小麦粉・餡玉	田んぼが忙しいころ。
5月 5日	端午の節句	河内宮前	チマキ	白い餅・笹の葉・イグサ	家によっては 100 本くらい蒸した。
5月 5日	端午の節句	桃原	チマキ		笹を探ってきて、田んぼの草で結んだ。
旧暦 5月 5日	端午の節句	萱原	チマキ	米粉・餅粉・笹	米粉・餅粉を笹で巻いて茹でる。
6月頃	田休み	敏満寺	ポンガラ餅	ポンガラ（サルトリイバラ）	米粉を団子にして、そら豆や枝豆餡をくるみ、ポンガラで包み蒸す
初夏	田植え	栗栖	おにぎり	梅干し・紫蘇	ハヤビル・コオビル・コビルと言った
初夏	田植え	栗栖	おかげ		ハヤビル・コオビル・コビルと言った
初夏	田植え	栗栖	おやつ		ハヤビル・コオビル・コビルと言った
初夏	田見舞い	栗栖	餅	餅	重箱に入れて持つて行った。
6～7月頃	サナブリ(タ ナブリ)	萱原	小豆餅	小豆	田仕事がひと段落するころに行う。
6月 30日	「荒神さんの 茅の輪」	多賀	ポンガラ餅	小麦粉・そら豆餡	がらたて餅は高級で高尚な人が言う言い方。
7月 1日	「多賀大社の お田植」	多賀	ポンガラ餅	小麦粉・そら豆餡	小豆は高価なのでそら豆で餡を作った。
7月 16日	涼み祭り	敏満寺	ポンガラ餅	ポンガラ（サルトリイバラ）・ ユリコ餅・餡	胡宮神社に巫女さんが来て湯神楽をしたあと、 子どもはお菓子がもらえる。各家庭でポンガラ 餅は作った。
8月 14日	お盆	河内下村	ポンガラ餅	餡入りだんご	盆の餅なのでポンガラ餅。多賀の風月堂はアケ ンバラの出身なので、頼んで作つてもらう。
8月 15日	お盆	河内下村	ぼたもち		
8月 15日	お盆	河内下村	おかげ	ヒフのおひたし・たたきご んぼ	ヒフは川に生えている草。
8月 15日	お盆	河内下村	里芋ご飯	里芋	餅にお砂糖を添えて善光寺に供える。
8月 15日	お盆	河内下村	白い小餅3つ	餅	
8月 16日	お盆	河内下村	ひねだんご・ひねりだん ご		5～7cmにのばした餅を3回くらいひねる
8月	盆	萱原	すき焼き	牛肉	
8月	盆	多賀	すき焼き	鶏肉	
8月	盆	栗栖	すき焼き	牛肉	多賀の山田肉屋で買った。
8月	盆	栗栖	すき焼き	牛肉	
8月	盆	甲頭倉	すき焼き・バーベキュー	牛肉	
8月	盆	川相	バーベキュー		
8月	盆	栗栖	フナの子付け	フナ	井戸でフナを釣っていた。
8月	盆	栗栖	赤飯	小豆・もち米	
8月	盆	川相	ばら寿司		
8月	盆	川相	素麺	素麺	
8月 25日	地蔵盆	多賀	カレー		ご馳走をおばさんが仕切つて作つていた。
8月 25日	地蔵盆	多賀	せんざい	小豆	
8月 25日	地蔵盆	多賀	ばら寿司		
9月中	松茸山の入 札	敏満寺	松茸		収穫された松茸は、会議所前広場で競りをし、 彦根の商人が来ていた。かごに詰めて米原から 列車で東京に送つていた。
11月最終土日	報恩講	南後谷	お華東（ケソク）	餅	親指の爪サイズの餅を 6 個×23 段×6 セット 作る。
11月最終土日	報恩講	南後谷	おつゆ	里芋・油揚げ・豆腐・ネギ	
11月最終土日	報恩講	南後谷	ポテトサラダ	じゃがいも・人参	
11月最終土日	報恩講	南後谷	煮物	大根・人参・里芋	

卷末資料

時期	行事など	地区	食の名称	食材	説明
11月最終土日	報恩講	南後谷	ナマス	大根・人参・油揚げ	
11月最終土日	報恩講	南後谷	おひたし	ホウレンソウ・小松菜	採れた野菜で
11月最終土日	報恩講	南後谷	天ぷら		手間がかかるのでご馳走だった。
11月最終土日	報恩講	南後谷	切り干し大根	大根	
11月最終土日	報恩講	南後谷	煮しめ	大根	親鸞聖人の体
11月最終土日	報恩講	南後谷	煮しめ	コンニャク	親鸞聖人の袈裟
11月最終土日	報恩講	南後谷	煮しめ	人参	親鸞聖人の血
11月最終土日	報恩講	南後谷	煮しめ	椎茸	親鸞聖人の帽子
11月最終土日	報恩講	南後谷	煮しめ	ゴボウ	親鸞聖人の杖
12月 27日	餅つき	川相	餅つき	もち米 30kg	子どもなど 6軒に送るので 27 日につく。
12月 30日	餅つき	栗栖	餅つき	もち米	1升餅は床の間と神棚。仏壇・農業倉庫・台所・お地蔵さん・車・机などに小餅を飾る。
12月 30日	餅つき	萱原	こわ餅	米と餅米	米と餅米を 1升蒸して、神様に供える。
12月 30日	餅つき	萱原	角餅	もち米	ひと臼 2升をレンゲです。
12月 30日	餅つき	萱原	あられ	もち米・山芋	山芋を入れて作りむしろに干す。
12月 30日	餅つき	久徳	丸餅	もち米	お供え用をつく
12月 31日	除夜会	南後谷	酒		除夜の鐘をついて、門徒さんにふるまつた。
12月 31日	除夜会	南後谷	スルメ	スルメ	除夜の鐘をついて、門徒さんにふるまつた。
12月 31日	大晦日	大杉	ニシン蕎麦	ニシン・ソバ	
12月 31日	大晦日	多賀	年越しそば	ソバ	揚げやネギが入っていた。ニシンなど贅沢品はなかった。
12月末	餅つき	敏満寺	鏡餅	もち米	神棚・ほとけさん・おくどさんにお供えする。ウラジロ・みかんと供える。
	祝の席	川相	こつくり	鰯	飼っていた鰯を三枚おろしにした。
	祝の席	川相	鍋料理	タラ・シャケ	
	よびし	栗栖	鮓ずし	フナ・ごはん	よびし=おもてなし。普段は子が入っていないのを食べよびしは、子入りだった。
	山の神講の日	大杉	あんころ餅	小豆	重箱に詰めて親戚や近所にふるまつた。ぜんざいを作ることもあった。
	結婚式	萱原	モロコの塩焼き	モロコ	つば(黒塗りの碗)
	結婚式	久徳	紅白饅頭	饅頭	マンジュウホッカイに入れてあいさつ回りをした。
	結婚式	大杉	ホッカイ	紅白まんじゅう	トナリ歩きで配った。
	産後	桃原	ごぼうの種	ゴボウのタネ	ごぼうの種を 10粒ほど飲むとお乳がよく出る。
	産後	久徳	ハラワタモチ	紅白の餅	7日祝にハラワタモチを作り、黒い豆を添えて濃い親戚に配った。
	葬式	南後谷	千団子	米粉	竹串 18 本にだんごを 9 個刺す。生なので、お供えした後茹でて皆にふるまう。
	葬式	南後谷	シソ団子・シソ餅	米粉	米粉を円柱にして蒸している。後で切って皆に配る。焼いて食べる。
	葬式	萱原	八団子	米	棺に入れるものと、死者が生前着ていた衣服を洗い乾かした食べるものがある。
	葬式	河内宮前	シンコ団子	米粉	生の米粉を水で溶いてこねる。湯は使わない。8個作って送りの時に身内が両側で 4 個ずつ持つ。
	葬式	大杉	団子	米粉	7 日 7 日に、2 個ずつ配った。棒状のモノを切って配る。焼いて食べた。
	葬式	桃原	カラスダンゴ	米粉	野辺送りに持って行く。人間は食べずイエの庭先や縁側に置きカラスが持って行くようにした。
	葬式	桃原	ヤツダンゴ	団子	団子を串に何個か刺し、それを何本か皿の中に刺したもの。
	葬式	敏満寺	ハチャドウフ	豆腐・汁	質素で簡単なものに決まっていた。豆腐を 8 つに切って入れた汁。出棺の前に食べた。
	葬式	久徳	うどんのぬた	うどん・ネギ・かまぼこなど	辛子酢味噌和え(ぬた)にする。
	葬式後	敏満寺	センタク団子	米粉	忌明けまでに亡くなった人の衣服を洗い、その後に作ってみんなで食べる。
	保存	敏満寺	イナゴの粉末	イナゴ	昭和 3 ~ 40 年頃まで宿題としてイナゴを学校に持って行った。大鍋で茹で、ムシロの上で乾燥して粉末についていた。味噌汁に入れたり、ふりかけにして食べるなどしていた。
	おやつ	敏満寺	つるんぱし・つるし柿	渋柿	渋柿は田んぼにイネのハサにするために植えていた。竿竹に挟み採った。

タイトル	編集・著者	出版・発行	出版年月
教育行政方針 平成8年度		多賀町教育委員会	1996年
小・中連携教育実践研究事業 研究報告書 平成20・21年度	多賀町教育委員会	多賀町：多賀町教育委員会	2010年
滋賀県多賀町一般会計予算書及び説明書 N.o. 1		多賀：多賀町	2001年2月
多賀町社会教育調査報告 2004	多賀町教育委員会社会教育課 / 編者	多賀：多賀町教育委員会	2006年3月
多賀町民憲章		多賀町（滋賀県）：多賀県教育委員会	
多賀の下水道		多賀：多賀町	1995年
多賀町環境基本計画	多賀町	多賀町：多賀町	
多賀町国土利用計画		多賀町（滋賀県）：多賀町	1995年
多賀町国土利用計画参考資料		多賀町（滋賀県）：多賀町	1995年
多賀町社会教育事業のまとめ 平成2年度		多賀町：多賀町教育委員会	1991年
多賀町社会教育方針 昭和58年度		多賀町教育委員会	1983年
多賀町社会教育方針 昭和60年度		多賀町教育委員会	1985年
多賀町生涯学習推進基本計画	多賀町教育委員会生涯学習課	多賀：多賀町教育委員会生涯学習課	2014年12月
多賀町青少年海外派遣研修事業報告集		多賀町教育委員会	2005年11月
多賀町中心市街地活性化基本計画		〔多賀町（滋賀県）〕：多賀町	2000年8月
多賀町中心市街地 タウンマネジメント構想	多賀町商工会	多賀町（滋賀県）：多賀町商工会	
多賀町町勢要覧 多賀 1986統計資料編	多賀町 / 編	多賀町（滋賀県）：多賀町役場	1986年
多賀町町勢要覧 多賀 1986	多賀町 / 編	多賀町（滋賀県）：多賀町	1986年
多賀町町勢要覧 多賀 1991	多賀町 / 編	多賀町（滋賀県）：多賀町企画課	1991年
多賀町町勢要覧 多賀 2000	多賀町 / 編	多賀町（滋賀県）：多賀町	2004年12月
多賀町町勢要覧 多賀 2009	多賀町 / 編	多賀町（滋賀県）：多賀町	2009年
多賀町町勢要覧 統計資料編 2012～	多賀町 / 編	多賀町（滋賀県）：多賀町	2012年
多賀町都市計画マスターplan		多賀町（滋賀県）：多賀町	1996年3月
多賀町都市計画マスターplan	企画課	滋賀県：多賀町	2012年3月
多賀町の予算 平成25年度		多賀：多賀町役場総務課	2013年
多賀町の予算 平成27年度	多賀町役場総務課 / 編集	多賀：多賀町役場総務課	2015年
多賀町文化施設基本計画		〔多賀町（滋賀県）〕：多賀町文化施設基本	1996年2月
多賀町歴史民俗資料館概要 第1集	多賀町歴史民俗資料館 / 編	多賀町（滋賀県）：多賀町歴史民俗資料館	1982年
多賀町歴史民俗資料館概要 第2集	多賀町歴史民俗資料館 / 編	多賀町（滋賀県）：多賀町歴史民俗資料館	1988年
多賀町企業ガイド 2014		多賀：多賀町役場産業環境課	2014年
多賀町地域福祉計画	多賀町福祉保健課	多賀：多賀町	2014年3月
多賀町の社会教育 昭和61年度	多賀町教育委員会	多賀町教育委員会	1987年
第4次多賀町総合計画	多賀町企画課 / 編集	多賀：多賀町	2001年4月
第5次多賀町総合計画 実施計画 平成23年度～25年度	多賀町役場企画課	多賀：多賀町	2011年3月
第5次多賀町総合計画	多賀町役場企画課	多賀：多賀町	2011年3月
第3次多賀町総合計画	多賀町役場企画課 / 編集	多賀：多賀町	1991年
多賀町子ども読書活動推進計画 第2次		滋賀県：多賀町	2014年4月
中心市街地活性化 事業設計・調査・システム 開発事業報告書		多賀町産業連絡会議	2002年3月
平成25年度 多賀町立博物館 研究発表会 講演要旨集		滋賀県：多賀町立博物館	2014年3月
まちづくり・活性化への指針	多賀町商工会 / [編]	多賀：多賀町商工会	1987年3月
たが こんにちは議会です！！第001号～	議会広報常任委員会	多賀町議会	
広報たが 1972年4月（401号）～ 1986年3月（463号）	多賀町企画課	多賀町：多賀町役場	1972年4月
広報たが 1986年4月（464号）～ 1991年3月（523号）	多賀町企画課	多賀町：多賀町役場	1986年4月
広報たが 1991年4月（524号）～ 1996年3月（583号）	多賀町企画課	多賀町：多賀町役場	1991年4月
広報たが 1996年4月（584号）～ 2001年3月（643号）	多賀町企画課	多賀町：多賀町役場	1996年4月
広報たが 2001年4月（644号）～ 2007年3月（715号）	多賀町企画課	多賀町：多賀町役場	2001年4月
広報たが 2007年4月（716号）～ 2011年3月（763号）	多賀町企画課	多賀町：多賀町役場	2007年4月
広報たが 2011年4月（765号）～	多賀町企画課	多賀町：多賀町役場	2011年4月
新しい教育の創造に向けて	多賀町PTA連絡協議会	多賀町PTA連絡協議会	1993年3月
いくせい 第3号（2006年）～		多賀町青少年育成町民会議	2006年9月
伊集院	多賀町青少年育成町民会議	多賀町青少年育成町民会議	1997年
伊集院町との架橋 故窪田廣治氏を追憶する	多賀町教育委員会 / 編集	多賀町教育委員会	2001年10月
市橋下総守長政 他	多賀町史編集委員会	多賀町史編集委員会	
市橋下総守長政 他	多賀町史編集委員会	多賀町史編集委員会	

[表5] 多賀町文献リスト (P.132～136)

タイトル	編集・著者	出版・発行	出版年月
今、日本人はどう生きればいいのか	鈴川 栄太 / 講演	多賀大社文化振興基金	1999年10月
いま私たちはなにをしたらいいのだろう？	多賀町人権対策室 / 編集	多賀町	1986年3月
古い小文集 第1集 平成三年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	1992年3月
古い小文集 第2集 平成四年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	1993年3月
古い小文集 第3集 平成五年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	1994年3月
古い小文集 第4集 平成六年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	1995年3月
古い小文集 第5集 平成七年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	1996年3月
古い小文集 第6集 平成八年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	1997年3月
古い小文集 第7集 平成九年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	1998年3月
古い小文集 第8集 平成十年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	1999年3月
古い小文集 第9集 平成十一年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	2000年3月
古い小文集 第10集 平成十二年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	2001年3月
古い小文集 第11集 平成十三年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	2002年3月
古い小文集 第12集 平成十四年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	2003年3月
古い小文集 第13集 平成十五年度		多賀町（滋賀県）：多賀町老荘大学	2004年3月
観光多賀	多賀町・多賀町観光協会 / 企画	多賀：多賀町・多賀町観光協会	
近江の万葉	西宮 一民 / 講演	多賀町（滋賀県）：多賀大社文化振興基金	1998年6月
会誌 1971	多賀小学校同窓会 / 編集	多賀：多賀小学校同窓会	1971年10月
会誌 1985	多賀小学校同窓会 / 編集	多賀：多賀小学校同窓会	1985年3月
会誌 1992	多賀小学校同窓会 / 編集	多賀：多賀小学校同窓会	1992年8月
会誌 2000	多賀小学校同窓会 / 編集	多賀：多賀小学校同窓会	2000年9月
会報	多賀小学校同窓会 / 編集	多賀：多賀小学校同窓会	1984年4月
学校要覧 昭和三十二年度	多賀町立多賀小学校	多賀町立多賀小学校	1957年
学童団体疎開の記	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1989年3月
研究紀要 平成6年度	多賀町立多賀小学校 / [編]	多賀町（滋賀県）：多賀町立多賀小学校	1997年
芹靈	多賀小学校芹谷分校・靈仙分校創立百周年記念事業推進委員会 / 編集	多賀町（滋賀県）：多賀小学校芹谷分校・靈仙分校創立百周年記念事業推進委員会	1977年6月
薫習	多賀町老人クラブ連合会 / 編集	多賀：多賀町老人クラブ連合会	1982年12月
共同研究集録 昭和63年度	多賀町立佐目小学校	多賀町立多賀小学校	1989年10月
共同研究集録 平成元年度	多賀町立佐目小学校	多賀町立多賀小学校	1990年3月
研究紀要 平成4年度	多賀町立佐目小学校	多賀町立多賀小学校	1993年3月
研究紀要 平成5年度	多賀町立佐目小学校	多賀町立多賀小学校	1994年3月
研究紀要 平成6年度	多賀町立佐目小学校	多賀町立多賀小学校	1995年3月
研究紀要 平成7年度	多賀町立佐目小学校	多賀町立多賀小学校	1996年3月
研究紀要 平成8年度	多賀町立佐目小学校	多賀町立多賀小学校	1997年2月
研究の足跡 平成2年度	多賀町立佐目小学校	多賀町立多賀小学校	1991年3月
研究の足跡 平成3年度	多賀町立佐目小学校	多賀町立多賀小学校	1992年3月
研究紀要 平成8・9年度	多賀町立大滝小学校 / [編]	多賀町立大滝小学校	1997年10月
研究集録 1992年度	多賀町立大滝小学校 / [編]	多賀町立大滝小学校	1993年3月
研究集録 1993年度	多賀町立大滝小学校 / [編]	多賀町立大滝小学校	1994年1月
研究集録 1994年度	多賀町立大滝小学校 / [編]	多賀町立大滝小学校	1995年1月
研究集録 1995年度	多賀町立大滝小学校 / [編]	多賀町立大滝小学校	1996年1月
研究収録 N.O. 33 (平成8年度)	多賀町立大滝小学校 / [編]	多賀町（滋賀県）：多賀町立大滝小学校	1997年
研究収録 N.O. 33 (平成8年度) 別冊	多賀町立大滝小学校 / [編]	多賀町（滋賀県）：多賀町立大滝小学校	1997年
研究収録 平成11年度	滋賀県犬上郡多賀町立大滝小学校	多賀町立大滝小学校	2000年3月
百年誌 多賀町立大滝小学校	多賀町立大滝小学校創立百周年記念実行委員会	多賀：多賀町立大滝小学校創立百周年記念実行委員会	1987年5月
百二十年誌 多賀町立大滝小学校	大滝小学校同窓会	大滝小学校同窓会	2007年12月
大滝小学校創立130周年を経て未来へ贈る写真でみるあの日のあの時	大滝小学校同窓会	大滝小学校同窓会	2017年12月
大滝神社とその周辺 デイジー図書	多賀町教育委員会社会教育課 / 編著	多賀：多賀町教育委員会	2006年3月
大君ヶ畑分校		多賀：多賀町教育委員会	1996年3月
健康たが21	多賀町福祉保健課 / 編集	多賀：多賀町	2009年3月
心ゆいゆい	ナル（公募・町内久徳出身）	多賀観光協会	2011年1月
子どもの生活リズム向上のための調査研究2007	多賀町教育委員会社会教育課 / 編	多賀：多賀町教育委員会	2007年2月
職場体験学習	多賀町立多賀中学校2年	多賀：多賀町立多賀中学校	2006年
滋賀にまつわる民話	多賀町有線放送・秦荘有線放送	多賀：多賀町有線放送・秦荘有線放送	2007年4月
自然との調和	多賀町企画課	多賀：多賀町	
次世代育成支援行動計画	多賀町福祉保健課	多賀町	2005年3月
児童俳句集 平成24年度	多賀町立大滝小学校	多賀町：多賀町立大滝小学校	2012年
児童俳句集 平成25年度	多賀町立大滝小学校	多賀町：多賀町立大滝小学校	2013年
自分を生きる	落合 恵子 / 講演	[多賀町（滋賀県）：多賀町教育委員会	1982年
鈴ヶ嶽御池之記	多賀町中央公民館 / 編集		
世界の名作 1	多賀町有線放送・秦荘有線放送	多賀：多賀町有線放送・秦荘有線放送	2011年4月
世界の名作 2	多賀町有線放送・秦荘有線放送	多賀：多賀町有線放送・秦荘有線放送	2012年4月
世界の名作 3	多賀町有線放送・秦荘有線放送	多賀：多賀町有線放送・秦荘有線放送	2001年4月
設立五周年記念誌	5周年記念誌編集委員会 / 企画・編集	多賀町シルバー人材センター	2001年1月
設立10周年記念誌	設立10周年記念誌編集委員会 / 企画・編集	多賀町シルバー人材センター	2011年12月

タイトル	編集・著者	出版・発行	出版年月
設立10周年記念誌	設立10周年記念誌編集委員会 /企画・編集	多賀町シルバー人材センター	2004年12月
戦後五十年鎮魂と平和祈念の文集	多賀町社会福祉協議会 /編	多賀町(滋賀県) : 多賀町社会福祉協議会 事	1996年
多賀		多賀町観光協会	
多賀小学校百年のあゆみ	多賀小学校創立百周年記念事業推進委員会 /	[多賀町(滋賀県)] : 多賀小学校創立百周	1974年
たがゆいちゃんの未来絵日記	多賀町	多賀町	2011年6月
T A G A - C H O		多賀町(滋賀県) : 多賀町企画課	1980年
多賀町子ども陶芸教室活動報告 平成18年度	多賀町教育委員会社会教育課 /編集	多賀 : 多賀町教育委員会社会教育課	2007年3月
魂を搖り動かす教育	高橋 史朗 /講演	多賀町(滋賀県) : 多賀大社文化振興基金	
追憶	多賀町立多賀中学校記念誌企画部編集部	多賀 : 多賀町立多賀中学校	1998年
日本の民話 1	多賀町有線放送・秦荘有線放送	多賀 : 多賀町有線放送・秦荘有線放送	2010年4月
日本の民話 2	多賀町有線放送・秦荘有線放送	多賀 : 多賀町有線放送・秦荘有線放送	2005年1月
日本の民話 3	多賀町有線放送・秦荘有線放送	多賀 : 多賀町有線放送・秦荘有線放送	2008年4月
日本の民話 4	多賀町有線放送・秦荘有線放送	多賀 : 多賀町有線放送・秦荘有線放送	2009年1月
百二十年史		多賀 : 多賀町立多賀小学校	1994年
やまなみ		多賀町公民館分館連絡協議会	1991年3月
やまなみ		多賀町公民館分館連絡協議会	1992年3月
やまなみ		多賀町公民館分館連絡協議会	1993年3月
やまなみ		多賀町公民館分館連絡協議会	1994年3月
やまなみ		多賀町公民館分館連絡協議会	1995年3月
やまなみ		多賀町公民館分館連絡協議会	1996年3月
やまなみ		多賀町公民館分館連絡協議会	
やまなみ 第9集		多賀町公民館分館連絡協議会	1998年3月
やまなみ 第10集		多賀町公民館分館連絡協議会	1999年3月
やまなみ 第16集		多賀町公民館分館連絡協議会	2000年3月
やまなみ 第16集		多賀町公民館分館連絡協議会	2003年
老壯大学小文集 平成6年度版		多賀 : 多賀町老壯大学	2005年3月
古代の芹川、犬上川扇状地開発と多賀信仰	小菅一彦	サンライズ	2012年12月
古老の語る敏満寺の歴史	敏満寺史跡保存会 /編集	敏満寺史跡保存会	
宇津木久岑小伝		多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1985年
お多賀さん		多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1971年
カミ・ぐに・人 続	桜井 勝之進 /著	多賀町(滋賀県) : 多賀大社	1995年
国際社会から見た日本の愛国心	篠沢 秀夫 /講演	多賀町(滋賀県) : 多賀大社文化振興基金	2004年3月
神社はどのようにあるのか	桜井 勝之進 /講演	多賀町(滋賀県) : 多賀大社文化振興基金	1995年7月
多賀信仰	『多賀信仰』編纂委員会 /編集	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1986年
多賀神社造営誌	多賀神社 /編纂	多賀村(滋賀県) : 多賀神社社務所	1938年5月
多賀神社文書	中村 直勝 /編	多賀村(滋賀県) : 多賀神社社務所	1940年
多賀神社史	多賀神社社務所 /編	多賀村(滋賀県) : 多賀神社	1933年
多賀大社	多賀大社 /特輯	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1972年10月
多賀大社叢書 記録篇1	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1978年
多賀大社叢書 記録篇2	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1978年
多賀大社叢書 記録篇3	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1979年
多賀大社叢書 記録篇4	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1979年
多賀大社叢書 記録篇5	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1980年
多賀大社叢書 記録篇6	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1987年
多賀大社叢書 記録篇7	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1989年
多賀大社叢書 記録篇8	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1994年
多賀大社叢書 諸家篇1	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1983年
多賀大社叢書 諸家篇2	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1984年
多賀大社叢書 諸家篇3	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1985年
多賀大社叢書 典籍篇	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1977年
多賀大社叢書 文書篇	多賀大社叢書編修委員会 /編修	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	
多賀大社とその周辺	多賀観光協会 /編集	[多賀町(滋賀県)] : 多賀町	2011年3月
多賀大社の能面・狂言面	中村 保雄 /著	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1991年
多賀曼荼羅の世界	大高 康正 /著	多賀 : 多賀大社	2012年2月
ナミとタカシのお多賀さんまいり 1	藤木 てるみ /作・絵	多賀町(滋賀県) : 多賀大社	1989年
ナミとタカシのお多賀さんまいり 2	藤木 てるみ /作・絵	多賀町(滋賀県) : 多賀大社	1990年
柏葉	桜井 勝之進 /著	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1990年
花なんだら	松宮 陸良 /撮影	多賀町(滋賀県) : 多賀大社社務所	1993年
陽転		多賀大社文化振興基金	1996年4月
陽転		多賀町(滋賀県) : 多賀大社文化振興基金	1998年10月
多賀大社観月祭 献詠集		多賀大社	1999年9月
多賀大社 平成の大造営記念誌	多賀大社 /編者	滋賀 : 多賀町 : 多賀大社	2008年3月
多賀大社とその周辺 デイジー図書	多賀観光協会	多賀 : 多賀町立図書館	2011年3月
大君ヶ畑の花ごよみ 昭和46年~平成7年度		多賀 : 多賀町教育委員会	1996年

卷末資料

タイトル	編集・著者	出版・発行	出版年月
アケボノゾウ発掘記	多賀町教育委員会 / 編集	多賀町教育委員会	1993年
古琵琶湖層群調査の中間報告会	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1994年
世界の巨石	多賀町立博物館 / 編集	多賀：多賀町立博物館	2012年7月
太古の海の記憶	清水 克也 / 編著	多賀町：多賀町立博物館・多賀の自然と文化	2007年6月
多賀の自然と文化の館（多賀町立博物館）		多賀町（滋賀県）：多賀町教育委員会	
多賀町の自然		〔多賀町（滋賀県）〕：多賀町教育委員会	1982年
多賀町の自然を探る 第2集		〔多賀町（滋賀県）〕：多賀町教育委員会	1980年3月
多賀町の石灰洞	水島 明夫 / 編集	多賀町（滋賀県）：多賀町	1989年
多賀町の歴史と自然		多賀：多賀町歴史民俗資料館	1993年
ナウマンゾウの里 多賀町	多賀町歴史民俗資料館	多賀町：多賀町教育委員会	
あけぼのパーク多賀 年報 平成20年度 第1号	あけぼのパーク多賀	あけぼのパーク多賀	2008年3月
あけぼのパーク多賀 年報 平成21年度 第2号	あけぼのパーク多賀	あけぼのパーク多賀	2009年3月
あけぼのパーク多賀 年報 平成22年度 第3号	あけぼのパーク多賀	あけぼのパーク多賀	2010年3月
あけぼのパーク多賀 年報 平成23年度 第4号	あけぼのパーク多賀	あけぼのパーク多賀	2011年3月
あけぼのパーク多賀 年報 平成24年度 第5号	あけぼのパーク多賀	あけぼのパーク多賀	2012年3月
あけぼのパーク多賀 年報 平成25年度 第6号	あけぼのパーク多賀	あけぼのパーク多賀	2013年3月
あけぼのパーク多賀 年報 平成26年度 第7号	あけぼのパーク多賀	あけぼのパーク多賀	2014年3月
河内の風穴	V I N Z /企画制作	V I N Z	2008年
青龍山 敏満寺と東大寺	多賀町歴史民俗資料館 / 編	多賀：多賀町歴史民俗資料館	1992年
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第1集 富之尾遺跡・殿山遺跡・楢崎古墳群内遺跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1991年
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第2集 大岡遺跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1991年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第3集 四手遺跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1991年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第4集 四手遺跡・土田遺跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1992年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第5集 久徳遺跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1992年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第6集 四手遺跡（第3次調査）	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1992年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第7集 木曾遺跡・楢崎古墳群内遺跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1993年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第8集 久徳遺跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1993年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第9集 久徳遺跡（第3次調査）・敏満寺遺跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1994年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第10集 土田遺跡（第3次発掘調査）・楢崎古墳群内遺跡（第4次発掘調査）	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1996年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第11集 木曾遺跡（第2次～第7次調査）	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1999年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第12集 大岡古墳群（本文編）	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	2003年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第12集 大岡古墳群（写真図版編）	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	2003年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第13集 敏満寺西遺跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	2004年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第14集 土田遺跡 第4次調査・第5次調査	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	1994年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第15集 土田遺跡 第6次～第8次調査	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	2004年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第16集 土田遺跡 第10次調査	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	2005年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第17集 敏満寺遺跡石仏谷墓跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	2005年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第18集 月ノ木遺跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	2006年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第19集 敏満寺遺跡 第2次調査	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	2008年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第20集 月ノ木遺跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	2008年3月
多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書 第21集 大谷遺跡	多賀町教育委員会 / 編集	多賀：多賀町教育委員会	2014年3月

タイトル	編集・著者	出版・発行	出版年月
水沼社遺跡	種村 優平 /著者	多賀町:多賀町教育委員会	
大岡高塚古墳群	多賀町教育委員会 /編集	多賀町:多賀町教育委員会	2008年3月
胡宮神社史	胡宮神社 /編集	胡宮神社社務所	1954年
胡宮神社建造物等の調べ	不明	不明	
大谷遺跡	多賀町教育委員会 /編集	多賀町教育委員会	1978年
一次発掘調査のまとめ	多賀町立博物館	多賀町立博物館	1968年
史跡敏満寺石仏谷墓跡保存管理計画書	多賀町教育委員会	多賀:多賀町教育委員会	2015年9月
真如寺美術工芸品調査報告書	多賀町教育委員会・多賀町立文化財センター	多賀:多賀町教育委員会・多賀町立文化財センター	2014年3月
最盛期敏満寺を復元する	多賀町立文化財センター /編集	多賀:多賀町立文化財センター	2014年3月
多賀大社奥書院の障壁画と庭園	多賀大社・多賀町教育委員会 /編者	多賀町:多賀大社・多賀町教育委員会	2010年3月
多賀神社奥書院庭園保存修理工事報告書	多賀大社 /編集	多賀:多賀大社	2010年11月
湖東五山の仏	多賀町立文化財センター	多賀:多賀町立文化財センター	2010年10月
胡宮神社とその周辺	多賀町教育委員会社会教育課 /編者	多賀:多賀町教育委員会	2008年3月
古代、土田に役所があった?	多賀町立文化財センター /編	多賀:多賀町教育委員会	2008年3月
多賀大社社殿ならびに奥書院障壁画	多賀町教育委員会 /編集	多賀:多賀町教育委員会	2008年2月
敏満寺の中世墓地へ国史跡・敏満寺石仏谷墓跡	多賀町立文化財センター /編	多賀町:多賀町立文化財センター	2005年10月
杉原千畝と命のビザ	寿福 滋 /撮影	多賀:多賀町教育委員会	2003年3月
風の記憶	寿福 滋 /撮影	滋賀県	2,007年3月
敏満寺の謎を解く	多賀町教育委員会 /編	多賀:多賀町教育委員会	2003年11月
多賀町文化財調査報告書 第1集 多賀の文化財 考古・美術工芸品	多賀町教育委員会 /編集	多賀:多賀町教育委員会	1994年3月
多賀町歴史民俗資料館概要 第一集		多賀町民俗資料館	1982年11月
多賀町歴史民俗資料館概要 第二集		多賀町民俗資料館	1987年3月
水谷地区生活文化史調査報告書	多賀町教育委員会 /編集	多賀:多賀町教育委員会	2007年3月
胡宮神社社務所庭園保存修理事業報告書	多賀町教育委員会 /編集	多賀:多賀町教育委員会	1993年3月
滋賀県犬上郡多賀町内遺跡分布調査報告書 平成6年度版	多賀町教育委員会 /編	多賀:多賀町教育委員会	1995年3月
多賀町文化財・自然誌調査報告書 第1集	多賀町教育委員会 /編集	多賀:多賀町教育委員会	1993年
多賀町文化財・自然誌調査報告書 第2集	多賀町教育委員会 /編集	多賀:多賀町教育委員会	1993年
多賀町文化財・自然誌調査報告書 第3集	多賀町教育委員会 /編集	多賀:多賀町教育委員会	1993年
多賀町文化財・自然誌調査報告書 第4集 平成5年度多賀町新指定有形文化財の調査報告 びわ湖東部中核工業団地造成工事に伴う地盤調査報告	多賀町教育委員会 /編集	多賀:多賀町教育委員会	1991年3月
多賀町文化財・自然誌調査報告書 第5集 多賀の昆虫・鱗翅目・蝶類目(チョウ) -	多賀町教育委員会	多賀:多賀町教育委員会	1998年03月
多賀町文化財・自然誌調査報告書 第6集	多賀町教育委員会	多賀:多賀町教育委員会	2003年3月
胡宮神社史	胡宮神社 /〔編〕	多賀町(滋賀県):胡宮神社々務所	1954年
最盛期敏満寺を復元する	多賀町立文化財センター /編集	多賀:多賀町立文化財センター	2010年11月
青龍山・生活環境保全林 -	多賀町	多賀町	1991年3月
大君ヶ畑に伝わる古式行事について	多賀町史編纂委員会 /編	多賀:多賀町公民館	1972年3月
川相公民館 20年のあゆみ	多賀町川相公民館20周年編集委員会	多賀町:多賀町川相公民館	1990年3月
郷土沿革史 その1	多賀町 /〔編〕	[多賀町(滋賀県):多賀町公民館]	1991年11月
郷土沿革史 その2	多賀町史編さん委員会 /編集	多賀:多賀町公民館	1991年11月
多賀町 史上巻	多賀町史編さん委員会 /編集	[多賀町(滋賀県)]:多賀町	1995年3月
多賀町 史下巻	多賀町史編さん委員会 /編集	[多賀町(滋賀県)]:多賀町	1991年
多賀町 史別巻	多賀町史編さん委員会 /編集	[多賀町(滋賀県)]:多賀町	1991年
多賀町の文化財 その5	多賀町史編さん委員会 /編集	多賀:多賀町公民館	1977年3月
町史零れ草	多賀町史編纂委員会	多賀町(滋賀県):多賀町	1992年2月
脇ヶ畑史話	多賀町史編纂委員会 /編	多賀:多賀町中央公民館	1973年3月
脇ヶ畑史話・追補 (1985.10.30)	多賀町史編纂委員会 /編	多賀:多賀町中央公民館	1985年10月
お虎ヶ池の伝説	不明	不明	不明
胡宮神社と赤染衛門	近藤 徳三 /著	多賀:多賀町公民館	
久徳史	近藤 徳三 /著	滋賀県犬上郡多賀町久徳	1968年
久徳史・久徳こばねなし 復刻版	近藤 徳三 /編	多賀町大字久徳	1982年
猿木区誌	猿木区誌編集委員会 編	猿木区誌編集委員会	2013年
多賀町大君ヶ畑のかんこ踊り	大君ヶ畑かんこ踊り保存会 編	大君ヶ畑かんこ踊り保存会	1992年
伝承の共有	桜井 勝之進・多賀町史編さん委員会 編	多賀町	1991年
古老的語る敏満寺の歴史	敏満寺史跡文化保存会	敏満寺史跡文化保存会	1995年
多賀の民話集	多賀町教育委員会	多賀町教育委員会	1980年
中川原歴史風土記	多賀町中川原歴史編纂委員会	多賀町中川原区	2016年2月
胡宮神社とその周辺 ディジー図書	多賀町教育委員会社会教育課 /編者	多賀:多賀町教育委員会	2008年2月
多賀町文化財・自然誌調査報告書 第7集 多賀町民俗調査報告書一(桃原・敏満寺・萱原・久徳)	多賀町教育委員会・多賀町立文化財センター・滋賀県立大学文学部地域文化学科市川研究室	多賀町教育委員会・多賀町立文化財センター・滋賀県立大学文学部地域文化学科市川研究室	2016年3月
名勝胡宮神社社務所庭園保存管理計画書	多賀町教育委員会	多賀町教育委員会	2015年3月
名勝多賀神社奥書院庭園保存活用計画書	多賀町教育委員会	多賀町教育委員会	2017年3月
(仮称)多賀スマートインターチェンジ建設と文化財保護について 建設可能性調査報告書	多賀町	多賀町	2016年3月
滋賀県文化財目録	滋賀県教育委員会文化財保護課	滋賀県教育委員会	2013年3月

多賀町歴史文化基本構想

平成 30 年 3 月

発行・著作 滋賀県多賀町教育委員会

滋賀県犬上郡多賀町四手 976-2

編 集 株式会社環境事業計画研究所

京都府京都市上京区多門町 440 番 6 号



**本構想は、平成 27 年度から 3 年間、文化庁の文化
芸術振興費補助金を受けて、策定したものである。**